

要請番号( JL 224 - 11 - B - 01 ) 調査者名: 小島 聡成

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ドミニカ 共和国	職種 手工芸 (コード 6652 ) 指導科目	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Handicrafts 指導科目(英)			1 24 / 1	年 月 から
				2 24 / 2	
				3 /	

開発課題 貧困層の潜在能力向上

1) 受入省庁名(日本語) 経済企画開発省  
 (受入機関名)(英語) Ministry of Economic Planning and Development

2) 配属先名 (日本語) NGO ミッション ILAC  
 (英語) NGO Centro de Educacion para la Salud Integral, ILAC

3) 任地 フンカリート  
 首都( サント・ドミンゴ )から 北西 方向 200 Km  
 主要都市( サンティアゴ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 貧困地域における保健、農業、教育、地域女性グループ支援の分野での生活改善を目的とした団体。年間予算約90万ドル。ドイツ、アメリカから約45万ドルの援助を受けて活動を行っている。以前、地域の女性グループ全体を支援するJICAボランティアが2代入っていた。また、生活改善関連のJICAボランティアを現在申請中。アメリカ・ドイツからの短期滞在のボランティアを多数受け入れている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 ミッションILACは、シバオ地域(ドミニカ共和国の北・中央部全域)の、地域女性グループの支援を行っている。その中で、女性団体のメンバーが天然素材を利用した手工芸品を製作、観光客や外国人に販売することにより、副収入を得る取組みをしている。団体によって、宗教装飾品(ロザリオやプレスレット等)やマクラメ、ろうそく、サンダル等を製作している。フンカリートでは、天然素材を利用した宗教装飾品を中心に手工芸品を生産している。この度、購入者が好むデザインの導入および手工芸品の品質改善を行うことにより、販売量・収入を向上させる目的でボランティアの要請となった。

2) 期待される具体的業務内容  
 ・手工芸品のデザイン改良(主に宗教的装飾品)  
 ・観光客が好むデザインや手工芸品の調査。  
 ・手工芸品の品質向上を図る。  
 ・村で採取出来る新素材の調査。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 作業場、木材加工場

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 C/P 30代男性  
 生産グループ 30名強

5) 業務使用言語(訓練言語は上段)  
 スペイン語 ( )  
 ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: C)  
 (レベル: )

資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)

・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由:  
 ・学歴( )( ) 学歴理由:  
 ・経験(実務経験)(2年以上) 経験理由: 対象者の経験を考慮して  
 ・自然素材を利用した手工芸の経験 理由: 利用素材が限られるため  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(温暖冬季少雨気候) 気温( 10~25℃位) 電気(□安定 ●不安定 □なし)  
 電話(●インターネット可 ●通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ●不安定 □なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 20 日

要請番号( JL 463 - 11- B - 02 )		調査者名: 石島 和彦				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
エジプト	職種 手工芸 (コード 6652 )	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 2	年 月 から
	職種(英) Handicrafts			2	24 / 3	
指導科目(英)	3	/				
開発課題 社会福祉の向上						
配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 社会連帯・公平省 (受入機関名)(英語) Ministry of Social Solidarity and Justice					
	2)配属先名 (日本語) ハルガダ支局ファミリープロダクト部 (英語) Hurghada Branch, Family Products department					
	3)任地 ハルガダ 首都( カイロ )から 南東 方向 420 Km 主要都市( ハルガダ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 社会連帯省ハルガダ支局は、地域内にある登録されたNGOの監督および支援を行っている。各NGOが運営している職業訓練所、保育園、産品加工販売、手工芸品販売等の活動を支援し、地域住民の社会進出、現金収入向上に関する支援を実施している。2012年9月まで手工芸隊員、2013年1月まで村落開発普及員隊員が活動予定。					
要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 市内には、社会連帯省に登録している職業訓練所(NGO)がある。2008年からJOCV(服飾)が支局に派遣され、NGOの現地スタッフ、女性グループに対し洋裁技術指導を実施した。新たな取り組みとして、村落開発普及員隊員と協働し、地域住民の社会進出、現金収入向上に資する活動を行う。各NGOへの巡回、セミナー企画・開催など技術指導(手工芸、縫い物)を行う。新しいデザインの手工芸品開発、観光客対象の土産物の製作を行い、支局の管理する店舗にて商品化を提案する。配属先での活動以外にも、物作りボランティアとチーム型活動を行う。同チームにおいては新商品の開発、品質向上を目指した技術指導が期待されている。					
	2)期待される具体的業務内容 工芸品の品質改善指導、工芸品作成 1. 現地スタッフ、女性グループに対して手工芸品製作および縫製技術の指導 2. 土産品の商品開発 上記、配属先の業務のみならず、以下のチーム型活動にも関与することが期待されている ・物作り関連ボランティアと連携した活動を行う(手工芸の技術指導、カイロで実施されるバザーへの協力)					
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 参考:各種ミシン(工業用:直線縫いミシン、オーバロックミシン、釦ホールミシン編み機 家庭用:電動直線ミシン、オーバロックミシン)					
資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 支局部長(40代・女性) 指導対象: 20~40代女性		5)業務使用言語(訓練言語は上段) エジプト語 ( )		6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( 女性 ) 性別理由: 女性グループ支援のため ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験( 実務経験 ) (2年以上) 経験理由: 実践的な指導が必要であるため 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車					×	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概 況 域	気候( 砂漠 ) 気温( 5~40℃位)		電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )			
電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )						



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号 石井

追加4/1

記入日:平成 23 年 7 月 25 日

要請番号( JL 109 - 11 - B - 04 )

調査者名: 木下史夫

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
キリバス	職種 料理 指導科目 (コード 6653 )	● 新規 ○ 交替 代目	○ 2 年 ● 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Cooking 指導科目(英)			2	24 / 3
				3	/
年 月 日から					
開発課題 その他の支援分野					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 労働・人材育成省 (受入機関名)(英語) Ministry of Labour and Human Resource Development				
	2) 配属先名 (日本語) 船員養成校(MTC) (英語) Marine Training Centre				
	3) 任地 ペシオ 首都( タラワ 中心地 パイリキ )から 西 方向 4 Km 主要都市( パイリキ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.4 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 創立40周年を迎えた船員養成校。年間予算は約8千万円。豪州やNZからの機材や設備の支援を受け、世界基準資格をもつ船員育成を掲げる。平均生徒数は年間150名で、半年間の英語学習の後、1年間海事全般について学ぶ。卒業生は皆、同国の人材派遣会社に所属し海外の船舶会社(主にヨーロッパ)に就職する。船員の昇進研修や現職研修も年間20コースほど実施している。英語教師の豪州ボランティアが派遣されている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 18ヶ月間の船員養成コースでは、エンジン技術・甲板・給仕業務全てに対応できる船員を育成している。給仕に関しては、栄養・衛生・調理・配膳マナーなど幅広く指導している。就職の条件として調理や給仕ができることは重要で、卒業生が多く働く中小規模の船舶では、一人で何役もこなすため、調理・給仕は必須である。現在キリバス人の講師2名が教えているが、よりインターナショナルなレシピ、マナー、衛生教育に対応した授業を行い、生徒の雇用機会を拡大させるために隊員が要請された。校内の調理設備を利用して、一般向けに短期ケータリングコース(4週間を年3回)も実施しており、そこでの調理実習や栄養に関する授業も望まれている。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 船員養成コース・一般ケータリングコースの授業をキリバス人講師と一緒に。新しいレシピの導入や、世界共通の配膳マナーやサービス、衛生教育に関してのアドバイスが望まれている。 2. 同時に同僚講師に対しても必要な助言を行う。(実習方法の改善や、食材管理方法など) 3. 日本料理や国際的なレシピの紹介(材料に限りがあるので、できる範囲で調理実習を行うが、材料がない場合も写真等で紹介し、生徒の食の知識を広げる) 4. 生徒にとってより魅力的で就職に活かせる授業内容にするための様々な助言が望まれている。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 新調理室(2009年12月完成) 旧調理室(ガスコンロ、ガスオープン、冷凍庫、冷蔵庫、一般調理器具) 一般教室				
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 40代男性(船員経験25年、教員経験5年) 30代男性(船員経験15年、教員経験3年) その他調理師3名、倉庫管理者1名 生徒: 約150名(年齢18-30歳)その他短期コースの生徒など		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(専門学校卒)( ) 学歴理由: 生徒・同僚に指導するため ・経験(実務経験)(2年以上) 経験理由: 生徒・同僚に指導するため ・調理師 理由: 調理指導を行うため 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域 気候(熱帯海洋性) 気温( 25~35℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)					



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○ESV )  
短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号 籠田

記入日:平成 23 年 7 月 22 日

調査者名: 工藤 浩文

要請番号( JL 545 - 11- B - 37 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ウガンダ	職種 料理 (コード 6653 )	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目			1 24 / 1	年 月 から
	職種(英) Cooking			2 24 / 2	
指導科目(英)	3 24 / 3				

開発課題 初等後教育強化

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 観光・貿易産業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Tourism Trade and Industry
	2)配属先名 (日本語) ホテル・観光業訓練校 (英語) The Hotel and Tourism Training Institute
	3)任地 ジンジャ県ジンジャタウン 首都(カンパラ)から 東 方向 80 Km 主要都市(ジンジャタウン)までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0.1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ジンジャ県ジンジャタウンにおいてホテル・観光業に従事する人材を育成する公立の訓練校。1954年にオープンしたホテルの敷地内に1994年に開校。2007年11月までは教育・スポーツ省の傘下であったが、現在は観光・貿易産業省の管轄となっている。ドイツから各施設に対する支援を受けた実績がある。生徒数は約300人、年間予算額は約95万ドル。現在、平成21年度3次隊・料理隊員が活動中。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 首都カンパラから東に車で2時間程度の距離にあるジンジャタウンはナイル川沿岸に位置し、多くの観光客が訪れる観光業が盛んな町である。ホテル・観光業訓練校は同地にて1994年よりホテル・観光マネジメントコースを開設し、同産業に貢献できる人材を育成している。卒業生の多くは大統領官邸、民間ホテルや観光施設に就職している。前任者は、同僚講師をサポートし、料理の質や献立バラエティーを増すなど、調理実習内容の改善を主に活動を行っている。
	2) 期待される具体的業務内容 ①西洋料理を中心とした料理クラスで調理実習を行う。 ②洋菓子、デザートを試作し紹介する。 ③オーダーの取り方や配膳について、接客マナーを教える。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 演習用台所、ホテルの台所、ガスクッカー10台、冷蔵庫、冷凍庫各4台、オーブン4台、他各種調理器用具一式

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長 50代男性 スタッフ数は約100名、 調理講師1人(経験5年) 30代男性 生徒は中学卒業レベル	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 経験理由: 応用力が必要なため 理由: 調理や接客指導のため 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地 気候(亜熱帯) 気温( 15-30℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 況域 電話(☐インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

要請番号( JL 424 - 11 - B - 01 )

調査者名: 竹内 マヤ

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ヨルダン	職種 服飾 (コード 6657 ) 指導科目	○新規	◎2年	1 24 / 1	年 月 から
	職種(英) Dress Making 指導科目(英)	◎交替	○1年	2 24 / 2	
		2代目	○ヶ月	3 /	
開発課題 将来の質の高い産業人材の育成					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 労働省 (受入機関名)(英語) Ministry of Labor				
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公社 ジェラッシュ職業訓練所 (英語) Vocational Training Cooperation, Jerash Vocational Training Institute				
	3) 任地 ジェラッシュ 首都( アンマン )から 北 方向 50 Km 主要都市( ジェラッシュ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内約50の訓練校にて学生や社会人の技術向上を行っている。2006年11月~2010年11月、本部と3つのモデルセンターで職業訓練マネジメント強化プロジェクト(技術協力プロジェクト)が実施された。現在、VTCの4訓練校でJOCV8名(服飾、自動車整備、経済・市場調査、溶接、電気・電子設備)及びSV4名が活動中。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在、ヨルダンは持続的な経済発展と国際競争力強化のため、投資促進、工業団地建設等の工業振興政策をとるとともに、労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。かくなる状況のもと、JICAは職業訓練公社に対し協力を実施している。その中で同要請は、ジェラッシュ職業訓練所の服飾コースにおいて、訓練コース改善及びインストラクターの指導技術の向上を求めている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ジェラッシュ職業訓練所の服飾コースにおいて、インストラクターおよび訓練生に対し、以下の点で協力を行う。 1. 訓練生の訓練意欲向上と学習支援 2. 訓練コースの補助教材作成(デザイン、パターン作成など) 3. インストラクターの指導力向上のための支援 4. 訓練コースの実施に関する側面支援				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 Kingter電動ミシン21台、Mack裁断機、スチームアイロン				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・校長(男性、40代) ・担当インストラクター2名(女性、30代) ・訓練生 約20名(女性、10代後半~20代前半) ・他コースの指導員、事務員など(男女約25名)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 ( ) 英語 ( )		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) ☐ (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別(女性) 性別理由: 女性向けコースのため ・学歴(専門学校卒) (業務関連分野) 学歴理由: 専門的知識・技術が必要なため ・経験(実務経験) (3年以上) 経験理由: インストラクターへの指導を行うため 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車				P	x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(地中海性) 気温( 0~40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)				



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 13 日

調査者名: 大光 英人

要請番号( JL 503 - 11 - B - 08 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ボツワナ	職種 服飾 (コード 6657 )	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Dress Making 指導科目(英)			3	24 / 3
年 月 から					
開発課題 教育・職業訓練					
配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育技能開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Skill Development				
	2)配属先名 (日本語) ボボノン ブリゲード (英語) Bobonong Brigades				
	3)任地 モララタウ 首都( ハボロネ )から 北東 方向 490 Km 主要都市( セレピビクエ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ボツワナ国内には50前後のブリゲードと呼ばれる職業訓練学校がある。中学卒業程度後に就学可能で、16歳から25歳前後の生徒が技術を学んでいるのが一般的である。訓練期間はコースにより1年から3年となる。運営は地域の自治体、コミュニティなどによるものであったが、国が管轄を行なう方針を打ち出しており、ブリゲードにより運営体制が異なり、現在当ブリゲードは地域コミュニティによる運営である。予算約5千万円。				
要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当ブリゲードには今回交替を希望している服飾学科の他、自動車科、ブロック科、木工科がある。配属先での認識として、服飾にかかわる技術的な部分は、日本が進んでいるという意識であったところ、これまでの2代の服飾ボランティアが配属され、益々その認識は高まり、今回の要請となった。現在のボランティアは同僚への技術支援の他、クラスも受け持ち、服飾にかかわる基礎的な技術や実習を行なっている。				
	2)期待される具体的業務内容 ボランティアに期待される主な活動は以下のとおりである。 ①学生(2~3年コース)へのプラクティカル(ソーイング)の授業受け持ち(国家資格取得を目標) ②同僚、生徒に対する服飾にかかわる手法の紹介 ③その他同僚教師への補助				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 工業用ミシン17台(Singer等半分ほど故障中)、家庭用ミシン(Singer等半分ほど故障中)、オーバーロックミシン2台(故障中)。その他故障中の機械数台あり。				
要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 服飾技術インストラクター4名 教養過程教師1名 30~45歳程度		5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 (ツワナ語)		6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(専門学校卒) (業務関連分野) 学歴理由: 同僚と同等レベル ・経験(実務経験) (5年以上) 経験理由: 訓練生に指導のため 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			a		x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(サバンナ) 気温( 5~40℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 13 日

要請番号( JL 503 - 11 - B - 13 )

調査者名: 大光 英人

国名	職種/指導科目 (コード 6657 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ボツワナ	職種 服飾	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Dress Making 指導科目(英)			3	24 / 3

開発課題 教育・職業訓練

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 地方自治省 (受入機関名)(英語) Ministry of Local Government
	2) 配属先名 (日本語) NGO ボナレセディ地域社会プロジェクト (英語) NGO Bona Lesedi Community Based Project
	3) 任地 カンエ 首都( ハボロネ )から 南西 方向 120 Km 主要都市( ハボロネ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先のNGOは、6歳から18歳の孤児や脆弱な環境で暮らす若者が社会で役立つように地域で育て上げることを目的とした南部県のカンエに設立された組織である。孤児はエイズに感染している場合もある。具体的な活動内容は、日曜日以外の平日に食事を与えること、精神的なカウンセリングを行うこと、社会的・精神的な教育の機会を与えること、服飾の技術習得、近くの中学生在が施設の子供たちに勉強を教えるメンターシップがある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 地域のエイズ孤児や様々な理由で、学校からドロップアウトした子供たちが社会で暮らす術として、服飾の技術を身につけるプロジェクトを行っている。しかし、指導を行う服飾の技術を持った技術者はボランティアに頼らざるを得なく、継続的に確保が難しい状況である。そのため一定の期間技術支援をしてくれるボランティアが必要となっている。	
	2) 期待される具体的業務内容 プロジェクトオフィサーとして以下の活動が期待されている。 ①施設の孤児や若者に対し、自立支援の一環として縫製技術など服飾における技術一般の支援 ②服飾一般の技術習得により、施設の収入創出の支援につながることを期待	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 工業用ミシン (JUKI3台)、カッティングマシン、裾縫いミシン、刺繍ミシン。	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンセラー(リーダー)、運転手、洋裁アシスタント、厨房担当。対象は施設の高学年の生徒。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
--	---------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴 (専門学校卒 ) (業務関連分野) 学歴理由: 専門知識に基づく業務が期待されるため ・経験 (実務経験 ) (2年以上) 経験理由: 同僚とのバランス 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車	a	N	x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(サバンナ) 気温( 0~40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 18 日

調査者名: 山脇 滋一

要請番号( JL 512 - 11- B- 21 )

国名	職種 / 指導科目 (コード 6657 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ガーナ	職種 服飾	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Dress Making			3	/
	指導科目(英)				年 / 月 から

開発課題 産業人材育成

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 雇用・社会福祉省 (受入機関名)(英語) Ministry of Employment and Social Welfare
	2) 配属先名 (日本語) NGO アドムフィエ地域総合開発 (英語) NGO Adomfie Integrated Community Development
	3) 任地 イースタン州ククラントゥミ 首都( アクラ )から 北西 方向 90 Km 主要都市( コフォリデュア )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 今年で創立10年を迎える地元の地域活性化を目的としたNGOで、職業訓練施設を有する。傘下には液体石鹼の製造と販売を行う部門があり、主な活動資金は同石鹼の販売で得た利益で賄っている。また、職業訓練施設のケータリング部門は、『米国ピースコー』の訓練施設等へケータリングサービスを提供している。同NGOマイクロファイナンス支援部門では、過去4年『米国ピースコー』のボランティアを受け入れた実績がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同NGOは、ケータリング科(生徒数53名)と服飾科(生徒数17名)から成る職業訓練施設(正式名: Adomfie Institute of Catering and Vocational Training)を有する。同訓練施設は現在、服飾科のレベルアップを目指している。生徒への直接指導とともに、ガーナ人同僚教員2名への技術指導も担当するボランティアを切望しており、今回の要請に至った。
	2) 期待される具体的業務内容 1. 生徒への縫製など服飾に関連する実技の直接指導 2. 服飾科活性化のための新しいアイデア、プログラムの提案と実施 3. 同僚教員への業界における新しいトレンドの紹介と指導 4. 現行責任者と共に服飾科のトップとして、科全般のマネジメントを担う
要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 手回しミシン、足踏みミシン、業務用電動ミシン
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚教員 1: 女性33歳、業界経験8年 同僚教員 2: 女性25歳、業界経験4年

資 格 条 件	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 ( ) (チュイ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 ( ) ・性別(女性) 性別理由: 全生徒が女子であるため ・学歴(専門学校卒) (業務関連分野) 学歴理由: 専門的技術・知識が求められるため ・経験(実務経験) (2年以上) 経験理由: 同僚教員への指導も求められるため 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車	a	N	x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(熱帯) 気温( 25~35℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )
--------	--





長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 29 日

要請番号( JL 527 - 11 - B - 06 )

調査者名: 北山 敏之

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ナミビア	職種 服飾 指導科目 (コード 6657 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1	
	職種(英) Dress Making 指導科目(英)			2	24 / 2	
				3	24 / 3	
開発課題 基礎生活の向上						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 保健社会福祉省 (受入機関名)(英語) Ministry of Health and Social Services					
	2) 配属先名 (日本語) NGO カラス ファイゼン クラフト トラスト (英語) NGO The Karas Huisen Crafts Trust					
	3) 任地 カラス州キートマンシュープ 首都( ヴイントフック )から 南 方向 400 Km 主要都市( ヴイントフック )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 4.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) キートマンシュープ郊外貧困地域にある、エイズ、肺結核感染者及びその家族に就業機会を与えるためにチェコ NGO 団体の支援を受け2009年に設立されたNPO団体。従業員は約50名で、ほとんどが女性。裁縫を学びながら、布製の人形やランチョンマットなどを製作し販売している。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 団体設立以前はチェコからの経済的・技術的援助を受けていたが現在は受けていない。また、短期的な技術指導及びワークショップのため、長期滞在での技術指導を望んでいる。以前キートマンシュープ役場に派遣された隊員が、同団体との交流を持っていたためJICAボランティアの存在を知り、今回の要請となった。現在は、近郊の町で活動する美術隊員が同団体と交流を持ち、デザイン等のアドバイスをしている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ・縫製、刺繍にかかる技術指導 ・管理者、グループリーダーに対する品質向上指導 ・商品のデザイン開発(ナミビアのデザインを取り入れたデザイン開発)及び生産計画にかかるアドバイス ・ミシンのメンテナンス指導 ・材料入手のアドバイス ・仕事場の運営管理					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 工業用ミシン3台、工業用ロックミシン1台、家庭用ミシン20台、家庭用ロックミシン1台、刺繍コンピュータ機能、テキスタイルプリンティング機能付家庭用ミシン及び約150種類のデザイン。					
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 管理者: 30代女性 グループリーダー及びスタッフ約50名		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( )		6) 選考指定言語 <input type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )	
	資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(専門学校卒 ) (業務関連分野) 学歴理由: 専門性の高い知識が求められるため ・経験(実務経験 ) (2年以上) 経験理由: 業務遂行上実務ノウハウが不可欠 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性				研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車				a	N	x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概 地 況 域	気候(乾燥高原サバンナ ) 気温( 10~40℃位)		電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)			
電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)						



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

調査者名: 加藤 聡子

要請番号( JL 621 - 11- B - 08 )

国名	職種 / 指導科目 (コード 6657 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マリ	職種 服飾	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 2
	指導科目			2	24 / 3
	職種(英) Dress Making 指導科目(英)			3	/

開発課題 質の高い基礎教育普及と人材育成

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 女性児童家族促進省 (受入機関名)(英語) Ministry of Promotion of Women, Children and Family
	2)配属先名 (日本語) アワケイタ職業訓練センター (英語) Vocational Center of Aoua Keita
	3)任地 パマコ 首都( パマコ )から 北 方向 0 Km 主要都市( パマコ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同配属先は、中学を卒業した女子・主婦を対象に、職業技術を身につけ、雇用が促進されることを目指して設立された。現在裁縫コースとホテル従業員養成コース(料理、菓子、ハウスキーピング、接客)がある。生徒は入学金を払うのみで、授業料は無料。座学・実習(各3ヶ月)の後、ホテルで研修を受け資格を取得する。国からは管理経費のみ支弁され、講師謝金や材料費などは会議費の貸し出しで賄っている。外国からの援助はなし。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同配属先には裁縫コースとホテル従業員養成コースがあるが、現在は運営資金面からホテル従業員コースに重点を置いている。裁縫コースは既に基礎課程を修了したが、資格を有効に活用できていない女子・主婦15名を対象に、スキルアップの目的で設立された。講師の不足からボランティアが要請され、初代隊員が裁縫コースの再開を行った。現在は、生徒の縫製技術の指導、将来の講師育成を行いながら、配属先敷地内に直営店をオープンし、作品の販路開拓、経営の学習、資金確保といった視点で機能化をめざしている。
	2)期待される具体的業務内容 ①裁縫コースの生徒(基礎コース修了者)に対し、作品(小物、衣服、刺繍など)の質を高めるような実践的な指導を行う。 ②オープンしたばかりの直営店の運営を通じて経営や商品化の実践学習を行う。 ③裁縫コースのミシン整備や裁縫材料の整理等、学習環境の改善に協力する。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 足踏みミシン20台

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ: センター長 女性 50代 教科主任 女性 40代 講師全約20名 指導対象者: 18~30歳の女性	5)業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 ( ) ( )	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	--	--	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由:
・学歴(専門学校卒 ) (業務関連分野) 学歴理由: 基礎的な知識が必要のため
・経験(実務経験 ) (2年以上) 経験理由: 裁縫に関する技術指導が求められるため
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概況 気候(サバンナ北スーダン) 気温( 15-45℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)

要請番号( JL 630 - 11 - B - 15 ) 調査者名: 大塚 教二巳

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モザン ビーク	職種 服飾 指導科目 (コード 6657 )	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Dress Making 指導科目(英)			2	24 / 3
				3	/

開発課題 モザンビーク その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) エミリア・ダウッセ中等教育学校 (英語) Emilia Dausse Secondary School
	3) 任地 インハンパネ州マシシ市 首都( マプト市 )から 北東 方向 465 Km 主要都市( インハンパネ市 )までの交通手段及び所要時間( 船 で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 昼夜間3部制で教師数65名、8~12年生(日本の中学・高校)の生徒3400名(男子4割、女子6割)が学ぶインハンパネ州都の代表的中等学校。2007年度から自立支援講座が始まり、経済経営、服飾、工芸の分野について週2時間の座学授業と週4時間の実技授業が行われている。理論の授業はクラスが形成されているが、実技の授業は有志の生徒30名弱が集まって活動を行っている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当初、自立支援を目的として授業が始まり、同地域の企業から電動ミシンの寄贈を受け、手工芸のクラブとして開始された。現在はジンバブエ人の同僚1名とJICAボランティアが授業を担当している。材料購入費を捻出するため授業の中で商品の生産も行う必要があるが、そのレベルまで達する生徒数は少ない。そのため、配属先は後任ボランティアを要請し、授業の継続と生徒のレベル向上を目指している。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・実習授業の担当(生産力の向上に向けての指導も含む) ・作品展覧会の開催	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 電動ミシン5台、モーター付き足踏みミシン1台、ロックミシン2台、コンピュータ刺繍ミシン1台	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 上司 40歳後半 男性 同僚: ジンバブエ人1名(英語教師、女性)、趣味レベル	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
--	--	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴 (大卒 ) (業務関連分野) 学歴理由: 学校で教授するため ・経験 ( ) ( ) 経験理由: 理由: 理由:
------------------	---

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(12-40℃位) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
電話	<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B. ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 22 日

調査者名: 廣瀬 信明

要請番号( JL 021 - 11 - B - 05 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジ ア	職種 音楽 (コード 6701 )	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目 マーチングバンド			2	24 / 2
	職種(英) Music 指導科目(英) marching band			3	24 / 3

開発課題 教育分野への支援

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2) 配属先名 (日本語) NGO JHP・学校を作る会プノンペン事務所 (英語) NGO Japan Team of Young Human Power (JHP)
	3) 任地 プノンペン市ボンケンコン第1地区 首都( プノンペン )から 南 方向 0 Km 主要都市( プノンペン )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 日本の特定非営利活動法人(NPO) JHP・学校を作る会のプノンペン事務所として1993年に設立された。カンボジア王国教育青年スポーツ省に登録されているNGOで、カンボジアの小、中学校と教員養成校の校舎建設及び情操教育(主に音楽・図工)普及活動、児童養護施設支援、日本からの短期ボランティア受け入れ等の事業を展開している。同事務所は、日本人3名、カンボジア人11名のスタッフで運営されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同NGOは情操教育普及活動の一環として、市内の高校1校、小学校2校でマーチングバンドの支援を行っている。現在、王立芸術大学講師6名がこの3校で指導を行っているが、器楽、マーチングの指導法に関する知識が不足している。また、同3校の教員各1名が生徒及び楽器管理を行っているが、マネージメント能力が不足しており改善が必要である。これまで生徒が自主的に練習できる体制を築くことを課題とし隊員が活動しているが、まだ完全とは言えない状況から引き続き隊員が要請された。同NGOはマーチングバンド支援の他に音楽支援事業も行っており、音楽指導法や教員育成トレーニング等の補助も求められている。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・マーチングバンドの指導、運営管理補助 ・音楽の基礎知識、楽器の管理方法、演奏方法の指導 ・同マーチングバンドのイベント企画、引率 ・音楽教育普及事業活動内容への助言、補助	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 トランペット、クラリネット、アルトサクソフーン、トロンボーン、ドラム、シンバル、バスドラム、レルリラ、マーチングボード、鍵盤ハーモニカ、フラッグ、ボンボン	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本人スタッフ1名、カンボジア人スタッフ4名 マーチングバンド指導員:カンボジア人6名(王立芸術大学講師、男性5名、女性1名、30~50代前半) 指導対象者:小学校4~高校3年生	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
---	---	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)		
	・教諭免許( )	・性別( )	性別理由:
	・学歴 (専門学校卒 )	(業務関連分野)	学歴理由: 教師として必要条件
	・経験 (実務経験 )	(2年以上)	経験理由: 教師として必要
			理由:
			理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車		N	x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(熱帯モンスーン )	気温( 25~40℃位 )	電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 5 月 17 日

要請番号( JL 057 - 11 - B - 03 )

調査者名: 築山佳代子

国名	職種/指導科目 (コード 6701 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モルディ ブ	職種 音楽	○新規 ◎交替 6 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 3
	職種(英) Music 指導科目(英)			3	/
年 月 から					
開発課題 基礎社会サービスの改善					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) ジャラルディーンスクール (英語) Jalaaludheen School				
	3) 任地 ハーダール環礁クルドゥフシ島 首都( マレ )から 北 方向 280 Km 主要都市( マレ )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 2 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は1998年に設立された、男子生徒320名、女子生徒330名の8~12年生(日本の中学2~高校3年生)の生徒が在籍する公立学校である。2006年まで協力隊による音楽指導で当国北部地域のプラスバンド部の中心的存在となったが、指導者の問題から指導された技術が継続されず、2010年より音楽隊員の派遣が再開され、現在協力隊1名がその指導に当たっている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国の音楽授業はセカンダリー校においては実施されていない。しかしながら、教育省が国内の主な学校に金管楽器を供与しCADETと呼ばれる学生規律教練隊の一部であるプラスバンド部の形成で、音楽に触れることを推奨してきた。同校は、そのプラスバンド部を持つ学校の一つであり、その演奏を協力隊が指導したが、離島ゆえ指導者の確保が困難であり、隊員派遣終了後は先輩から後輩へと代々継承してきた。しかし、指導者不在は大きく、2010年より協力隊による吹奏楽部の指導が再開された。再指導は順調で、継続して引続き指導することが重要と判断されたため後任要請が出された。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・プラスバンド部の顧問として指導を行う。 ・同部を引率し、各種イベント等で演奏を行う。 ・モルディブ人指導者を育成する。 ・同職種他配属先の音楽隊員とともに音楽ワークショップ等を行い、モルディブ人の音楽への興味を高める。 ・近隣の小学校でクラブ活動として音楽に触れてもらい、将来のプラスバンド部の候補を育てる。 ・既存楽譜の編集や楽器別のパート楽譜作りを行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 クラリネット4、トランペット6、アルトホルン2、バリトン2、ユーフォニウム4、テナーホルン4、ペーstromボーン2、チューバ2、スザフォーン1、スネアドラム4、シンバル、バスターム1				
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル プラスバンド部担当教諭：副校長(30代後半、男性)その他学校教諭は約80名。 指導対象者：14~17歳の生徒(ほとんどが男子生徒)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 ( ) (ディベヒ語)		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験(実務経験) (3年以上) 経験理由: プラスバンド部の指導を行うため。 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車					×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況域 気候(熱帯モンスーン) 気温( 25~35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)					



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 5 月 16 日

調査者名: 築山佳代子

要請番号( JL 057-11-B-04)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
モルディ ブ	職種 音楽 指導科目 (コード 6701 )	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Music 指導科目(英)			1 24 / 3	年 月 から

開発課題 基礎社会サービスの改善

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2)配属先名 (日本語) シャムスディーンスクール (英語) Shamsuddeen School
	3)任地 シーナ環礁フルミードゥ島 首都( マレ )から 南 方向 540 Km 主要都市( マレ )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 2 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は最南端の環礁にある、男子生徒95名、女子生徒109名の1~7年生(日本の小学校1~中学1年生)の生徒が在籍する公立学校である。これまで協力隊による音楽指導が行われたことがあるが、継続して派遣されなかったため、その効果は低い。2011年より音楽隊員の派遣が再開され、現在協力隊1名がその指導に当たっている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) モルディブの初等教育において、音楽は「芸術教科」の1項目の位置付けであり、その指導を行える教諭は稀である。近年、首都マレにおいては必須教科となったが、地方島においてはその指導者や楽器を所有する学校がほとんどないため、音楽授業が行われていないのが現状である。しかしながら、同校は地方島における音楽指導の拠点として、数年前にブラスバンド用楽器が教育省より供与され協力隊より短期的にその指導が行われた。その後、継続した派遣が行われなかったが、今回数代継続して音楽隊員を派遣することにより、同校での音楽教授定着を試みるものである。	
	2)期待される具体的業務内容 ・1~6年生までの生徒を対象に、音楽の授業を行う。 ・音楽教諭候補者に音楽指導法を教授する。 ・CADETと呼ばれる学生規律訓練隊の一部となっているブラスバンド部の指導を行う。 ・同職種他配属先の音楽隊員とともに音楽ワークショップ等を行い、モルディブ人の音楽への興味を高める。 ・空いた時間に同島内にある小学校(フルドゥ・スクール)において音楽授業を行う。(1~5年生)	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 キーボード1台、トランペット、ホルネット、サイドドラム、テナードラム、シンバル、バスターム、鍵盤ハーモニカ、リコーダー(ソプラノ、アルト、テナー、バス)	
要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先スタッフ:音楽教諭候補者、女性、20代1名及び小学校教諭、男性、40代1名 学校生徒:1~7年生生徒	5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 ( ) (ディベヒ語)
	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(小学校教諭 ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴 ( ) ( ) 学歴理由: ・経験 (実務経験 ) (3年以上 ) 経験理由: 音楽教諭育成を行うため。 理由: 理由:	
	活動用交通手段の必要性	

○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度
			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯モンスーン ) 気温( 25~35℃位)	電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 10 日

要請番号( JL 224 - 11 - B - 04 )

調査者名: 門倉孝行

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ドミニカ共和国	職種 音楽 (コード 6701 ) 指導科目	●新規	●2年	1 24 / 1	年 月 から
	職種(英) Music 指導科目(英)	○交替	○1年	2 24 / 2	
		代目	○ヶ月	3 24 / 3	
開発課題 ドミニカ共和国 その他 開発課題					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) サントドミンゴ自治大学 (受入機関名)(英語) Santo Domingo Autonomy University				
	2) 配属先名 (日本語) サントドミンゴ自治大学芸術学部音楽学科 (英語) Arts Faculty of Santo Domingo Autonomy University				
	3) 任地 サント・ドミンゴ 首都( サント・ドミンゴ )から 北 方向 0 Km 主要都市( サント・ドミンゴ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サントドミンゴ自治大学は、1538年創立の新大陸で最も古く、任国で唯一の国立総合大学である。また、全国にある分校を含めると、正規登録学生数は約12万人を数える。貧富の差が激しい社会環境の中、各自の経済状況に左右されること無く、向学心のある学生に教育の機会を与えるという使命を果たしている。芸術学部は演劇、音楽、映画をはじめ7つの学科からなり、音楽学科には500人の生徒が在籍している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) バイオリニストの教授が音楽専攻学生の教育の一環として、弦楽団を立ち上げ各種イベントで演奏を行っている。チェロ、コントラバス、ピアノの演奏を希望している学生も多数いるが、教えられる人がいないためすでに演奏ができる学生のみが参加している。今回これらの楽器のうち必要性の高いチェロを教えられるボランティアの要請が提出された。ボランティアは教授とともに、正規の音楽授業を補佐することや、週末や各種イベントでの演奏を補佐し、音楽教育全般にかかわる。学生の中には教師になるものもいるため、良い人材を育て当国の児童に対する音楽教育の機会の向上を支援することが大きな目的とされる。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・チェロの演奏を教える。 ・オーケストラの運営を補助する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 チェロ、コントラバス、ピアノ				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 50代男性 修士課程 バイオリン暦37年 大学生		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴 (大卒 ) (音楽 ) 学歴理由: 大学生への指導するため ・経験 ( ) ( ) 経験理由: 理由: 音楽学科の学生に実技指導を行うため 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					×
* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(亜熱帯海洋性 ) 気温( 18~33℃位)		電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )				



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 9 日

調査者名: 門倉孝行

要請番号( JL 224 - 11- B - 05 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ドミニカ 共和国	職種 音楽 (コード 6701 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目			1 24 / 1	年 月 から
	職種(英) Music 指導科目(英)			2 24 / 2	
			3 24 / 3		

開発課題 ドミニカ共和国 その他 開発課題

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2)配属先名 (日本語) 障がい児対策部 (英語) Office of Psychology Orientation and Attention for the Diversity
	3)任地 サント・ドミンゴ 首都( サント・ドミンゴ )から 北 方向 0 Km 主要都市( サント・ドミンゴ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 障がい児対策部は教育省に属し特別支援教育の必要性のために業務を行っている。教育、芸術、労働、社会一般分野に関しての権利を保障することを目的に、障がい児・青年を教育している全ての機関と仕事をしている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 全国各地に特別支援教育を必要としている児童は多いが、必要な教育はなされていない。 同国の教育省は、特別支援教育が他国に比べ立ち遅れていることを認識しており、メキシコ、グアテマラ、キューバで行われているDissimilisメソッドを使用して、楽器を利用した特別支援教育を開始しようとしている。首都の学校から開始し全国の15の学校で実施、軽度障がい児への教育を充実させることを目標としている。音楽を教えられる人材が不足しているため今回の要請が提出された。
	2)期待される具体的業務内容 ・譜面の音階に色を用いた楽器(鍵盤ハーモニカとハンドベル)利用して、音楽を教える。 ・鍵盤ハーモニカとハンドベルを使用した障がい児の小規模楽団を作り、特別支援教育に役立てる。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 鍵盤ハーモニカ、ハンドベル、

要 請 概 要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 40代女性 特別支援教育教師経験20年	5)業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( ) ( )	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	--	--	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(音楽 ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( )( ) 学歴理由: ・経験(指導経験 )(3年以上 ) 経験理由: C/Pに対し確信を持って指導するために必要理由: 理由:
------------------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車	H		×

\* 研修等(H 障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況 域	気候(亜熱帯海洋性 ) 気温( 18~33℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )



要請番号( JL 233 - 11 - B - 07 ) 調査者名: 阪長 友仁

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
グアテマ ラ	職種 音楽 指導科目 (コード 6701 )	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Music 指導科目(英)			2	24 / 2
				3	/

開発課題 グアテマラ その他 開発課題

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 文化スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Culture and Sports
	2)配属先名 (日本語) ソロラ県芸術学校 (英語) Regional Art Center in Solola
	3)任地 ソロラ県ソロラ市. 首都( グアテマラ市 )から 西 方向 125 Km 主要都市( ソロラ市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は小学校の空き教室を利用し、クラブ活動としての音楽教室を実施している。特に、子供や青少年への情操教育を目的に運営されており、主にバイオリンの演奏指導を行っている。音楽教室は大人から子供まで参加できる形態となっている。現在、前任にあたる音楽隊員が活動中(2012年6月まで)。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 本要請の前任にあたる音楽隊員は、生徒たちの情操教育を目的に午前は市内の小学校において音楽の授業、午後はクラブ活動に携わっている。 配属先と同僚スタッフは現隊員とともに熱心に活動に取り組んでおり、更なる技術習得を望んでいる。	
	2)期待される具体的業務内容 ①ソロラ市内の小学校における音楽指導(歌唱・楽器等)を行う。(午前) ②小学校におけるクラブ活動の時間帯にバイオリンを中心とする音楽指導を行う。(午後) ③同県内で行われるイベント等に合わせて発表会を企画・実施する。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 学校ではバイオリン、チェロ等が使用可能	
要 請 概 要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 午後の活動の配属先同僚は男性 20代 指導する小学校の規模は 教師8人 生徒数約200人	5)業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( ) ( )
	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) ☐ (レベル: )	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験 (指導経験) (2年以上) 経験理由: 音楽の指導が活動の中心になるため 理由: 午後の活動がバイオリンの指導になるため 理由:	・バイオリン経験

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(高地性寒冷) 気温( 0~25℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 22 日

調査者名: 金山 珠実

要請番号( JL 318 - 11 - B - 09 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
エクアドル	職種 音楽 (コード 6701 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Music			2	24 / 2	
指導科目(英)	3	24 / 3				

開発課題 地域社会の開発促進・基礎インフラ整備

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) NGO エドガル・パラシオス文化財団 (受入機関名)(英語) NGO Edogar Palacios Culture Foundation
	2) 配属先名 (日本語) NGO エドガル・パラシオス文化財団 (英語) NGO Edogar Palacios Culture Foundation
	3) 任地 ピチンチャ県キト市 首都( キト市 )から 北 方向 0 Km 主要都市( キト市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は視覚・聴覚・知的発達障がいを持つ青少年を対象とする文化活動の指導を行うNGO団体であり、1992年に設立された。現在86名の青少年が活動に参加しており、特にオーケストラの活動は国内外から評価されている。年間予算は約20万米ドル。うち48%は教育省からの出資であり、残りは寄付や生徒が演奏して製作したCD販売等による独立採算。2007年まで計3名の協力隊員の活動実績がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先では約20年に及ぶ障がい者への文化活動指導の結果、近年複数名の生徒が配属先の指導者として就業するケースも増えてきている。音楽指導においては、2007年まで計3名の協力隊員による音楽指導実績があり、生徒の技術向上及び指導者の指導力向上に成果が認められたことから、以降はJICAボランティアによる協力は行われていなかった。しかし、最近では優秀な生徒を指導者へ育成するための技術指導の強化が必要となり、新たに指導者育成に協力できるボランティアが要請された。
	2) 期待される具体的業務内容 ピアノとキーボード楽器の分野を中心に、音楽指導の質向上のため以下の活動を行う。 ①ピアノ教師の技術及び指導力向上のための助言を行う。 ②ピアノ教師育成のための協力をを行う。 ③障がいを持つ生徒に対し、ピアノとキーボードを中心とした音楽の指導を行う。 ④オーケストラの指導に協力するほか、隊員本人が演奏に参加することもある。 ピアノとキーボードを中心とした音楽指導に限らず、障がい者の自立支援及び社会参加促進という配属先の活動主旨を理解し、これらの活動に幅広く協力することが求められている。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 音楽室、ピアノ、キーボード、視聴覚室、コンサートホール

要 請 概 要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・ピアノ教師: 女性、30代、音楽学士、障がい者への指導経験あり	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	--	------------------------------------	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴 (大卒 ) (音楽 ) 学歴理由: C/Pへの指導のため必要 ・経験 (指導経験 ) (2年以上 ) 経験理由: 指導者及び生徒への指導を行うため 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車	H	N	×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(山岳高地乾燥 ) 気温( 10~25℃位 ) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )	

要請番号( JL 424 - 11 - B - 15 ) 調査者名: 菱田 靖

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ヨルダン	職種 音楽 指導科目 (コード 6701 )	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 3
	職種(英) Music 指導科目(英)			2	/
				3	/
年 月 日から					

開発課題 パレスチナ難民支援

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 外務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Foreign Affairs
	2)配属先名 (日本語) パレスチナ難民局 (英語) Department of Parestine Affairs
	3)任地 イルビッド 首都( アンマン )から 北 方向 80 Km 主要都市( イルビッド )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) パレスチナ難民局 (DPA)はヨルダン国内におけるパレスチナ難民への支援を包括的に行う機関で、国連パレスチナ難民救済機構 (UNRWA) とともに、難民支援を行っている。それぞれのキャンプではUNRWAが教育・保健・障がい者等への支援を実施している。JICAはパレスチナ難民女性職業訓練センターにおいて個別専門家を派遣している。音楽の隊員が4名、それぞれ別々のUNRWAの学校で活動中。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ヨルダンの総人口の約6割がパレスチナ人でヨルダンの市民権を持っているが、キャンプ内の難民は特に貧しく、教育や就業の機会も限られている。UNRWAの運営する小中学校では、一般教科が重要視され、体育・音楽・美術の教育は十分におこなわれていない。また課外活動も行われていない。このようなパレスチナ難民を対象に、ボランティアは他職種のボランティアと協力しつつ、学校内外における、芸術教育の指導スキルの向上をめざす。子供たちが自ら表現できるような関心と能力を育てることを目的とする。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・ 難民キャンプの小中学校で、カウンターパートのアシスタント教師として、授業を行いながら、指導スキルの向上を目指す。 ・ UNRWA教育開発センターの教科指導主任や他の音楽教育ボランティアと協力して、ワークショップを企画し実施する。 ・ 他の音楽ボランティアらと協力して。コンサートなどを企画する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 小楽器 (アコーディオン、打楽器) 鍵盤ハーモニカ	
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 音楽教師 大卒 教育開発センター 指導教科主任 女性40代 指導対象 小中学生	5) 業務使用言語 (訓練言語は上段) アラビア語 ( ) ( )
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・ 教諭免許 ( ) ・ 性別 ( ) 性別理由: ・ 学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由: 同僚の多くが大卒のため ・ 経験 (実務経験) (3年以上) 経験理由: 授業を担当するため経験が必要 ・ 音楽又は小学校教諭免許 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(地中海性) 気温( 0~40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
-----	--



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 3 日

調査者名:小田原 健

要請番号( JL 475 - 11 - B - 06 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
チュニ ジ ア	職種 音楽 指導科目	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Music 指導科目(英)			1 24 / 2	年 月 から
				2 24 / 3	
			3 /		

開発課題 チュニジア その他開発課題

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 文化省 (受入機関名)(英語) Ministry of Culture
	2)配属先名 (日本語) モナステール音楽・ダンス学院 (英語) Regional Institute of Music & Dance of Monastir
	3)任地 ハマムゲザズ 首都( チュニス )から 南東 方向 150 Km 主要都市( モナステール )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は文化省の管轄下で地域の青少年の美的感覚の育成や情操を養うことを目的として1986年に設立された。ダンス2科目と音楽8科目の教育を提供し、これらを通じて規律の指導も行っている。生徒数420名で年間一人6000円の授業料を徴収し経済的にはある程度以上のレベルの家庭の子女が通っているが、楽器(バイオリンは10セット)の無料貸し出しも行っている。運営予算はコミッティーを通じて支給されている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先でのバイオリン教育は、演奏・作曲・鑑賞を目的として行われている。ダンスよりもピアノ・チェロ・リュートなど音楽選択の生徒数は340名と多く、そのうちバイオリンは55名である。チュニジアでバイオリンの指導者の確保は難しく現在指導員は一人のみである。ボランティアの派遣により、より創造的な教育が可能となり、またチュニジア人指導員との教授法や技術に関する意見交換や学院創立祭でのアンサンブルなども期待できる。ダンスの分野では多数のボランティアの派遣実績があるが、音楽に関しては今回が初めてとなる。	
	2)期待される具体的業務内容 配属先において以下の業務を行う。 ① バイオリン部門で初心者(子供・若者)を対象とした指導を行う(18時間/週)。 ② 同僚指導者と同部門の指導内容向上のために協働する。 ③ オーケストラの編成や指導を行う。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 練習室、ピアノ4台(アップライト)、ホール、その他	
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚指導員:正規2名(ギターとバイオリン) 臨時34名、 バイオリン指導担当者(男性30才代)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 ( ) フランス語 ( )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(専門学校卒)( ) 学歴理由:指導者としての必要条件 ・経歴(指導経歴)(3年以上) 経歴理由:指導者としての必要条件 ・バイオリン経験 理由:バイオリンの指導をするため 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(地中海性気候) 気温( 5-40℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 7 月 1 日

要請番号( JL 630 - 11- B- 14 )

調査者名: 大塚 教二巳

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モザン ビーク	職種 音楽 指導科目 (コード 6701 )	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Music 指導科目(英)			2	24 / 3
				3	/

開発課題 モザンビーク その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) ナマアシャ初等教員養成学校 (英語) Institute of Primary Education in Namaacha
	3) 任地 マプト州ナマアシャ郡 首都( マプト市 )から 西 方向 80 Km 主要都市( マプト市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 前期中等教育(10年生)修了者を対象に小学校教員を養成する学校。年間予算は約1250万円、米国ピースコー1名活動中。空調付PC室を所有しており、PC約60台が設置されている。またナマアシャ中学校には理数科ボランティアが派遣されており、街全体のボランティアの認知度は高い。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者は、音楽室を整備し、鍵盤ハーモニカとリコーダーを揃え、教科書と楽器を使った授業のほか、合唱曲の研究、指導を行っている(前任者は2012年6月まで活動予定)。現在本校には、現地人音楽教師が一名おり、ボランティアと併せて2名体制で授業を行っているが、200名を超える生徒の授業をボランティアなしでは担いきれない。また、今後も教師間の技術、指導力の高め合い、音楽指導のできる教員の育成を学校側も強く望んでいるため、本要請に至った。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・鍵盤ハーモニカとリコーダーを使った授業 ・校内合唱部のピアノ伴奏 ・現地人教師に対する技術指導や意見交換	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 鍵盤ハーモニカ23台、リコーダー35台、キーボードピアノ1台、ギター2台、コンピュータ60台、プリンタ16台、スキャナ3台	
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学校長40代 教員数約70人(基本的に教員免許取得者、職歴7年以上) 平均年齢30歳後半	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ( ) ( )
	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) ☐ (レベル: )	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴 (大卒 ) (音楽 ) 学歴理由: 教員養成校で教授するため ・経験 ( ) ( ) 経験理由: 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯 ) 気温( 12-35℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☐安定 ☑不安定 ☐なし)
----------	---



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 27 日

調査者名: 田口 信二

要請番号( JL 763 - 11 - B - 05 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウズベキ スタン	職種 音楽 (コード 6701 ) 指導科目 職種(英) Music 指導科目(英)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1 24 / 1 2 24 / 2 3 /	年 月 から
開発課題 教育					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Public Education				
	2) 配属先名 (日本語) プハラ32番学校 (英語) Bukhara #32 School				
	3) 任地 プハラ州プハラ市 首都( タシケント )から 西 方向 600 Km 主要都市( タシケント )までの交通手段及び所要時間( 飛行機 で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 小中学校としてプハラ市内に位置し、1~9年生の生徒900名が学習している32番学校は、礼儀や道徳を重んじ、広い視野をもった人となるよう情操教育に力を入れていこうとしている。日本の協力で中学技術・家庭科用の大工道具やミシンが数年前導入されている他は、外国からの援助はなく外国人教師もいない。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校では偏差値にとられないバランスの取れた義務教育を目指すため、音楽や体育といった情操教育に力を入れたいが、音楽教員は全校で1名しかおらず、新規教員を登用出来ない現状では、その教育理念を実践していくことが困難な状況にある。JICAボランティアに一部の音楽授業を担ってもらいながら、音楽を通じた異文化交流や体験を通じて、心豊かな生徒を育てるための協力が求められている。				
	2) 期待される具体的業務内容 赴任当初は人間関係の構築、語学力の向上に努める。その後、同僚教師と協力して、音楽教科の活性化と振興のために以下の活動を行う。 1. 担当クラスの学年に応じた音楽授業を電子オルガンの伴奏により実施する。 2. 民族楽器を操る同僚教師とデュオを組み、学校内外のイベント等で音楽教科の振興活動を実施する。 3. 音楽を中心としたクラブ活動を立ち上げ、外国人教師として異文化交流を図る。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 音楽室(準備中)、携帯電子オルガン				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 40代男性(民族楽器を使う授業) 対象者: 1~7年生、ソルフェージュ初級を理解		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ウズベク語 ( ) ロシア語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(小学校教諭 ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( ) ( ) 学歴理由: ・経験( ) ( ) 経験理由: ・ピアノ伴奏による音楽授業ができること 理由: 授業で必要 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車					x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(大陸性ステップ ) 気温( -20~40℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 30 日

要請番号( JL 212 - 11 - B - 01 )

調査者名: 竹前 雅子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベリーズ	職種 美術 指導科目 (コード 6703 )	◎新規 ○交替 代目	◎2年	1	24 / 1
	職種(英) Fine Arts 指導科目(英)		○1年	2	24 / 2
			○ヶ月	3	/
年 月 から					
開発課題 社会・経済格差是正					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) ラ・イマクラダ ローマンカトリック小学校 (英語) La Immaculada Roman Catholic School				
	3) 任地 オレンジウォーク 首都( ベルモパン )から 北 方向 140 Km 主要都市( ベリーズシティ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ベリーズ第2の都市(人口1.6万人、住民の多くはメスティソ系、スペイン語が母語)の中心市街地に立地する小学校で、教員35名、生徒数1,100名(幼稚部2学年、小学部6学年)、年間予算は教職員給与を除く学校運営費として約350万円がある。過去に小学校教諭の協力隊員を派遣していた経緯がある。他には識字と保健教育の米国ピースコーが郡内の学校を巡回している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ベリーズでは正規の教員免許を持たないまま教員として勤務する者が全体の40%を占め、教員訓練の拡充が教育省全体の早急の課題となっている。特に情操教育は必須科目になって日が浅いこともあり、専門教育を受けた教員は少ない。美術の授業は学年毎の担任が共同で教案を作成し、週に1度を目安に季節の行事(イースター、クリスマス、独立記念日など)に合わせた絵画や簡単な工作を行っているのが現状である。このため、学校としては、さまざまなスタイルの美術に触れる機会を児童に提供し、子供たちの創造力を育むなど、美術教育の改善を推進したいという希望があり、JICAボランティアの要請となった。				
	2) 期待される具体的業務内容 (1) 幼稚部、小学部の美術の授業(1コマ45分)をクラス担任と週に15コマ程度担当する。 (2) 美術教育の基礎と応用、発達度に合わせた授業内容の紹介を行う。 特に現地で入手可能な材料を利用してできる新しい授業案の紹介を行う。 (3) 教員へのアドバイスやワークショップを企画する。 (4) 美術教育向上のためのシラバス作成、教材の整備に取り組む。 (5) 既存の各種コンクールへの参加や各種学校行事にも協力する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教材、文房具は児童生徒が自宅から持ち寄ることが基本となっている。学校に消耗品のストックはないのが現状である。				
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長 (男性、50代) 教員 (男女、20~50代) 児童 (男女、幼稚部・小学部、6~14歳)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(美術 )・性別( ) 性別理由: ・学歴 ( ) ( ) 学歴理由: ・経験 (実務経験 ) (2年以上 ) 経験理由: 生徒及び教員への指導を行うため 理由: 理由:				
資格条件					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車					x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a.エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(熱帯、亜熱帯 ) 気温( 20~35℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 22 日

調査者名: 菱田 靖

要請番号( JL 424 - 11- B - 14 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ヨルダン	職種 美術 指導科目 (コード 6703 )	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Fine Arts 指導科目(英)			1 24 / 2	年 月 から
				2 24 / 3	
			3 /		

開発課題 パレスチナ難民支援

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 外務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Foreign Affairs
	2)配属先名 (日本語) パレスチナ難民局 (英語) Department of Parestine Affairs
	3)任地 マダバ 首都( アンマン )から 南 方向 32 Km 主要都市( マダバ )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) パレスチナ難民局 (DPA)はヨルダン国内におけるパレスチナ難民への支援を包括的に行う機関で、国連パレスチナ難民救済機構 (UNRWA) とともに、難民支援を行っている。それぞれのキャンプではUNRWAが教育・保健・障がい者等への支援を実施している。JICAはパレスチナ難民女性職業訓練センターにおいて個別専門家を派遣している。美術ボランティアが4名、別々のUNRWAの学校で活動中。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ヨルダンの総人口の約6割がパレスチナ人でヨルダンの市民権を持っているが、キャンプ内の難民は特に貧しく、教育や就業の機会も限られている。UNRWAの運営する小中学校では、一般教科が重要視され、体育・音楽・美術の教育は十分におこなわれていない。また課外活動も行われていない。このようなパレスチナ難民を対象に、ボランティアは他職種のボランティアと協力しつつ、学校内外における、芸術教育の指導スキルの向上をめざす。子供たちが自ら表現できるような関心と能力を育てることを目的とする。
	2)期待される具体的業務内容 ・難民キャンプの小中学校で、カウンターパートのアシスタント教師として、授業をおこないながら、指導スキルの向上をめざす。 ・UNRWA教育開発センターの教科指導主任と他の美術教育ボランティアと協力して、ワークショップを企画し実施する。 ・他の美術ボランティアらと協力して。展覧会などを企画する。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 美術室

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 美術教師 大卒 教育開発センター 指導教科主任 女性40代 指導対象 小中学生	5)業務使用言語 (訓練言語は上段) アラビア語 ( )	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) ☐ (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由: 同僚の多くが大卒のため ・経験 (実務経験) (3年以上) 経験理由: 授業を担当するため経験が必要 ・美術又は小学校教諭免許 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地 気候(地中海性) 気温( 0~40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)





平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 29 日

要請番号( JL 006 - 11- B- 04 )

調査者名: 間澤 友紀子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目 日本語教育	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英) Japanese Language Instructor			2	24 / 2
			3	24 / 3	年 月 から
開発課題 インドネシア その他 開発課題					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education				
	2) 配属先名 (日本語) リアウ大学 (英語) University of Riau				
	3) 任地 リアウ州プカンバル 首都( ジャカルタ )から 北東 方向 950 Km 主要都市( プカンバル )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) リアウ大学はリアウ州の首都プカンバルに位置し、1962年設立された。日本語学科は2005年に教育学部の中に新設された。学部数9、教員約1,100名、全学生数約15,000人の国立総合大学。日本語学科約160人。日本語学科のみの年間予算は約80万円(講師の給料などは含まない)国際交流基金より2名の若手日本語教師が派遣されているが、同プログラムは2011年12月に終了予定である。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同大学の日本語学科の歴史はまだ浅いが、日本語学科講師陣は若く、モチベーションも高い。リアウ州があるスマトラ島にはいくつか日本語を専攻できる大学があるが、同大学は日本語教師の養成をしている特色があり、多くの学生が日本語教師を目指している。将来の日本語教師を育成するために、教師講師陣のレベルアップや学生のモチベーション向上にはネイティブスピーカーからの指導が不可欠であり、今回の要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 ① 会話や文法の授業を担当し、直接学生に指導する。(週10~12コマ) ② 論文作成の助言を行う。 ③ 講師陣の日本語教授法の向上を目指し指導を行う。 ④ 大学の業務として毎月1回開催されている高校日本語教師対象の勉強会にて指導を行う。 ⑤ 茶道、生け花、書道、折り紙、日本料理などの日本文化の紹介ができれば望ましい。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 CD、カセットテープ、パソコン、プリンター				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 常勤6名(うち3名は修士取得中)(男性1名、女性5名 20代後半~40代前半) 非常勤3名(女性2名、20代前半) N1レベル1名、ほか7名はN2レベル		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴 (大卒 ) (業務関連分野) 学歴理由: 講師陣が大卒以上のため ・経験 (実務経験 ) (2年以上) 経験理由: 配属先からの要請による 理由: 活動上必要 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温( 25~35℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 29 日

調査者名: 間澤 友紀子

要請番号( JL 006 - 11- B - 05 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インドネ シア	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 日本語教育			1	24 / 2	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	24 / 3	
指導科目(英) Japanese Language Instructor	3	/				

開発課題 インドネシア その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2) 配属先名 (日本語) アイルランガ大学 (英語) University of Airlangga
	3) 任地 東ジャワ州スラバヤ 首都( ジャカルタ )から 南東 方向 700 Km 主要都市( スラバヤ )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 0.1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同大学は東ジャワ州の州都スラバヤに位置する国立総合大学である。学生数約2万2千人、教員数約1400人、日本語学科学生数150人(2011年9月に60人が入学予定)日本語学科は2006年9月に独立・開講し(以前は文学部の選択科目)、歴史は新しいが、同大学自体はインドネシアで3番目の規模を誇る総合大学である。現在、あしなが育成基金より2名の日本語教師アシスタントが派遣されている。大学予算は約5千万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同大学の日本語学科講師陣は若くて、モチベーションも高く、優秀な人材が揃っている。イ国において大学で指導するには2012年までに修士号の取得が義務付けられた。従って多くの大学は講師不足になり、当大学も例外ではない。初代隊員、現在活動中の2代目隊員は、講師不足を補うために学生に対する直接指導を中心に行い、空き時間を利用して講師陣への指導を行っている。ネイティブスピーカーならではの言い回しや、語彙の指導は不可欠であり、引き続き講師不足の状況が続いているため、後任の要請に至った。
	2) 期待される具体的業務内容 ① 授業を担当し、学生に対し直接指導する。(現在活動中の隊員は単独で週5コマ担当。インドネシア人講師担当授業にもアシスタントとして7コマ程度サポートしている) ② 学生に対する能力試験対策、日本語スピーチコンテストにおける指導をする。 ③ 講師に対し、コース運営に関する助言や、正しい教材・副教材の利用方法を指導する。 ④ 能力試験1級合格対策を含む、講師の日本語教授法の向上を目指し指導する。 ⑤ 学生講師に対し日本文化の紹介を行う。

要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、プロジェクター、各種日本語テキスト LL教室
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 常勤講師11名(うち5名は日本にて博士・修士号取得中) 非常勤講師4名(男性4名、女性10名) 20代後半~30代 N1取得者1名

資 格 条 件	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴 (大卒 ) (業務関連分野) 学歴理由: 講師陣が大卒以上のため ・経験 (実務経験 ) (3年以上) 経験理由: 配属先からの要請による ・日本語教授法 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地 気候(熱帯雨林 ) 気温( 25~35℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
況域 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)

要請番号( JL 018 - 11 - B - 01 ) 調査者名: 北井澄枝

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
タイ	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			1 24 / 1	年 月 から
				2 24 / 2	
			3 /		

開発課題 産業振興のための基盤整備(人材育成・制度整備)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) トリアムウドンスクサ南部高校 (英語) Triumdom Suksa School of South
	3) 任地 ナコンタマラート県 首都( バンコク )から 南 方向 780 Km 主要都市( ナコンタマラート )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.7 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1995年設立の生徒数1300名、教師70名の公立高校。日本語教育は2004年から開始され、高校1年生から3年生の約130名に選択必修科目として週17コマの授業と日本語クラブ活動を行っている。日本の学校との交流事業も実施。外国語科目は英語、中国語、日本語が実施されている。同校では国際交流基金の2008年JENESYS若手日本語教師派遣プログラムにより1名の日本人教師が活動を行った。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 学校やタイ人日本語教師が日本語教育に非常に熱心であるが、タイ南部地域には日本人在住者が少なく、教師、生徒とも日本語を話す機会がないことから、生の日本語に触れ、日本語能力を向上したいと願っている。また、タイ南部地域は日本語教師会の活動が盛んで、勉強会や合同での日本語キャンプを行っており、ネイティブスピーカーとして他校の先生方との共に日本語教育向上を図る活動も求められる。隣県のトランの「Japanese Language Instruction Development Center (通称: センター校)」(勉強会などの主催校)にはJOCV日本語教師が配属予定であり、連携しての活動も期待される。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・日本語の授業で生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など) ・授業や日本語クラブ、日本語キャンプ(文化祭)において日本文化の紹介 ・日常会話などを通じて、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 ・日本語能力試験(N4、N5)受験、日本語スピーチコンテスト出場のための指導 ・地域で行われているタイ国南部日本語教師会への協力 ・センター校と連携しての日本語教育の向上、文化紹介の活動 センター校は、他校と合同の勉強会や日本語コンテスト等を開催し、地域内のリーダー的な役割を担う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、「エリンが挑戦!日本語できます」(国際交流基金)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 外国語教師17名の内、タイ人日本語教師1名、20代、女性、公務員、大卒(日本語専攻)、教師歴5年、日本語会話レベル中級(日本での研修経験あり) 外国籍教師: イギリス2、フィリピン1、中国1	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) タイ語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(専門学校卒)( ) 学歴理由: 学校教師として必要なため ・経験( ) 経験理由: ・日本語教授法 理由: 日本語教育を行うための必須条件 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

住居は学校に隣接する町(日用品のみ入手可能)か、県中心部(学校までバスで40分)を予定

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯モンスーン) 気温( 22~38°C位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )
----------	---



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

要請番号( JL 018 - 11 - B - 02 )

調査者名: 北井澄枝

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
タイ	職種 日本語教師 (コード 6852 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	24 / 2	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 産業振興のための基盤整備(人材育成・制度整備)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) ブンワッタナー中高校 (英語) Boobwattana School
	3) 任地 ナコンラチャシマ県 首都( バンコク )から 北東 方向 260 Km 主要都市( ナコンラチャシマ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1973年設立の生徒数4500名、教師200名の大規模な中高一貫校。日本語教育は2003年から開始され、中学3年生から高校3年生の約500名に選択科目もしくは選択必修科目として週46コマの授業と日本語クラブ活動を行っている。外国語は英語、中国語、フランス語、日本語がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タイ人日本語教師は、ひらがなカードや絵カードなど手作りの教材を使用して授業を行っているが教師経験が浅く、日本語教授法の知識不足、教材不足を感じている。ボランティアには教授法、教材作成などの助言とともに、生徒のコミュニケーション能力と学習意欲の向上を期待している。 ナコンラチャシマの「Japanese Language Instruction Development Center (通称:センター校)」(勉強会などの主催校)には日本語教師隊員(22年度2次隊)が活動中であり、連携しての活動も期待される。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・日本語の授業で生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など) ・授業や日本語クラブにおいて日本文化の紹介 ・同僚日本語教師の日本語教授法向上のための協力(教材作りも含む) ・センター校と連携しての日本語教育の向上、文化紹介の活動 センター校は、他校と合同の勉強会や日本語コンテスト等を開催し、地域内のリーダー的な役割を担う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テキスト「みんなの日本語」(スリーエーネットワーク)、「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 外国語教師27名の内、タイ人日本語教師2名①20代、女性、公務員、経験1ヶ月②20代、女性、非常勤講師、経験3年。2名共留学経験あり、日能試3級。外国籍教師3名:イギリス1、カメルーン1、中国1

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(専門学校卒)( ) 学歴理由: 学校教師として必要なため ・経験( ) 経験理由: ・日本語教授法 理由: 日本語教育を行うための必須条件 理由:	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯モンスーン) 気温( 22~38°C位) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし )	



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

要請番号( JL 018 - 11 - B - 03 )

調査者名: 北井澄枝

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タイ	・職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	・職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	24 / 2
				3	/
年 月 から					

開発課題 産業振興のための基盤整備(人材育成・制度整備)

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education
	2)配属先名 (日本語) メンライ マハラートウィッタヤコム中高校 (英語) Mengrai Maharat Wittayakhom School
	3)任地 チェンライ県 首都( バンコク )から 北 方向 780 Km 主要都市( チェンライ市内 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.3 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1980年設立の生徒数1300名、教師70名の小規模の中高一貫校。日本語教育は2004年から開始され、中学1年生から高校3年生までの約100名に選択科目もしくは選択必修科目として週24コマの授業と日本語クラブ活動を行っている。外国語は英語、中国語、日本語がある。日本語教師隊員が(21年度2次隊)が活動中。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者は、①タイ人日本語教師の日本語力、日本語教授法向上支援、②学生への直接指導③日本語能力試験受験対策、日本語コンテストなどを実施して一定の成果が得られたが、配属先の日本語教師の経験が浅いこともあり、引き続きの支援が求められている。チェンライの日本語教育は先生方の交流が盛んで、日本語キャンプなどの行事への協力が求められる。また可能であれば前任者同様、他校や他機関への日本語教育を行うことが期待される。また市内の「Japanese Language Instruction Development Center (通称:センター校)」(勉強会などの主催校)と連携しての活動も期待される。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・日本語の授業で生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など) ・授業や日本語クラブ、日本語キャンプ(文化祭)において日本文化の紹介(特に書道、茶道、日本の踊り) ・日常会話などを通じて、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 ・日本語能力試験(N4、N5)受験、日本語コンテスト出場のための指導 ・可能であれば他校・他機関への日本語教育指導 ・センター校と連携しての日本語教育の向上、文化紹介の活動 センター校は、他校と合同の勉強会や日本語コンテスト等を開催し、地域内のリーダー的な役割を担う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、参考資料として「みんなの日本語」(スリーエーネットワーク)、げんき(ジャパントイム出版局)	
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 外国語教師13名の内、タイ人日本語教師1名、20代、女性、非常勤講師、大卒(日本語専攻)、教師歴3年、日能試3級。外国籍教師はイギリス1、中国2	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) タイ語 ( ) ( )
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( )・性別( )性別理由: ・学歴(専門学校卒)( )学歴理由: 学校教師として必要なため ・経験(実務経験)(2年以上)経験理由: 3代目であり他校での指導も求められるため ・日本語教授法理由: 日本語教育を行うための必須条件 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯モンスーン) 気温( 22~35°C位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

調査者名: 北井澄枝

要請番号( JL 018 - 11 - B - 04 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
タイ	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	24 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	24 / 2	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 産業振興のための基盤整備(人材育成・制度整備)

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education
	2)配属先名 (日本語) ランパーンカラヤニー中高校 (英語) Lampang Kanlayanee School
	3)任地 ランパーン県 首都( バンコク )から 北 方向 600 Km 主要都市( ランパーン )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1915年設立の生徒数3100名、教師182名の地方の進学校。日本語教育は2002年から開始され、中学2年生と高校生の約770名に選択科目もしくは選択必修科目として週70コマの授業と日本語クラブ活動を行っている。日本の高校や団体と交流事業も実施。外国語は英語、中国語、フランス語、韓国語、日本語がある。同校では日本語教師隊員(21年度2次隊)が活動中。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者は①生徒への直接指導(特に漢字、会話)、②日本の文化紹介、③福祉学校への日本語教育指導などを行い、生徒の日本語能力向上を図った。学校やタイ人日本語教師は日本語教育に非常に熱心であるものの、授業数と生徒数の急増したため、引き続きJOCVによる支援が求められた。 同校はタイ教育省が2010年より開始した「Japanese Language Instruction Development Center(通称:センター校)」に指定され、他校と合同の勉強会や日本語コンテストなどの開催で同地域でのリーダー的な役割を担っており、それらの活動への協力も期待される。
	2)期待される具体的業務内容 ・日本語の授業で生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など) ・授業や日本語クラブ、日本語キャンプ(文化祭)において日本文化の紹介 ・日常会話などを通じて、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 ・日本語能力試験(N4、N5)受験指導 ・センター校として傘下の学校の日本語教育の向上、文化紹介の活動支援 ・日本の高校や団体の交流事業へのサポート(年1回、日本からの訪問) ・前任者同様、近隣の福祉学校への日本語教育指導

要	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、プロジェクター、パソコン、インターネット、プリンター
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 外国語教師39名、タイ人日本語教師4、①50代 女性 公務員日能試3級、②20代 男性 公務員 日能試2級、③④20代 女性 非常勤 日能試3級。外国籍教師:アメリカ2、イギリス1、カナダ1、中国3

資 格 条 件	5)業務使用言語(訓練言語は上段) タイ語 ( )	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( ) 性別理由: ・学歴(専門学校卒)( ) 学歴理由: 学校教師として必要なため ・経歴(実務経歴)(2年以上) 経歴理由: 現地の教師がベテランであるため ・日本語教授法 理由: 日本語教育を行うための必須条件 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)	
概地 況域	気候(熱帯モンスーン) 気温( 22~38°C位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

要請番号( JL 018-11-B-05 )

調査者名: 北井澄枝

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タイ	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	24 / 2
				3	/
年 月 から					
開発課題 産業振興のための基盤整備(人材育成・制度整備)					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education				
	2) 配属先名 (日本語) ラチャシマウィッタヤライ中高校 (英語) Ratshashima Wittayalai School				
	3) 任地 ナコンラチャシマ県 首都( バンコク )から 北東 方向 260 Km 主要都市( ナコンラチャシマ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.3 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1899年設立の生徒数4670名、教師215名のほぼ男子校の進学校。日本語教育は2004年から開始され、中学2年生から高校3年生までの約570名に選択科目もしくは選択必修科目として週37コマの授業と日本語クラブの活動を行っている。外国語は英語、フランス語、中国語、日本語がある。日本語教師隊員(22年度2次隊)が活動中。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校のタイ人日本語教師が日本語教育に熱心であり、派遣中の隊員は①タイ人日本語教師の日本語力、日本語教授法向上支援、②学生への直接指導(コミュニケーション能力と学力向上)を重点に活動を行っており、引き続き日本語教育の改善を図りたいと考えている。 同校はタイ教育省が2010年より開始した「Japanese Language Instruction Development Center、通称:センター校」に指定され、他校と合同の勉強会や日本語コンテストなどの開催で同地方でのリーダー的な役割を担っており、それらの活動への協力も期待される。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・日本語の授業で生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など) ・授業や日本語クラブにおいて日本文化の紹介 ・日常会話などを通じて、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 ・日本語コンテスト出場のための指導 ・センター校として傘下の学校の日本語教育の向上、文化紹介の活動支援				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、参考資料として「みんなの日本語」(スリーエーネットワーク)				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 外国語教師36名の内、タイ人日本語教師2①40代、女性、公務員、日本語会話レベル初級②20代、男性、非常勤、日本語会話レベル中級。外国籍教師:イギリス3、カナダ1、フィリピン2、中国1		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) タイ語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(専門学校卒)( ) 学歴理由: 学校教師として必要なため ・経験(実務経験)(2年以上) 経験理由: センター校であるため ・日本語教授法 理由: 日本語教育を行うための必須条件 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概 況	気候(熱帯モンスーン) 気温( 22~38°C位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

調査者名: 北井澄枝

要請番号( JL 018 - 11- B- 06 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タイ	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	○ 新規 ◎ 交替 2 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	24 / 2
			3	/	年 月 日から

開発課題 産業振興のための基盤整備(人材育成・制度整備)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) ピマーイウィッタヤ中高校 (英語) Pimai Witthaya School
	3) 任地 ナコンラチャシマ県ピマーイ 首都( バンコク )から 北東 方向 260 Km 主要都市( ナコンラチャシマ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1983年設立の生徒数3800名、教師150名の中規模の中高一貫校。日本語教育は2005年から開始され、高校1年生から3年生の約150名に選択必修科目として週18コマの授業と日本語ガイドクラブ活動を行っている。外国語は英語、中国語、日本語がある。同校では日本語教師隊員(21年度1次隊)が活動を行った。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 学校とタイ人日本語教師が日本語教育に熱心であり、前任者は①タイ人日本語教師の日本語能力・日本語教授法向上②学生への直接指導③ピマーイ遺跡での学生日本語ガイドクラブの教材作成と立ち上げを行った。学校は継続しての活動を望んでおり、特に日本語ガイドクラブの引き継ぎの活動と運営を期待している。ナコンラチャシマの「Japanese Language Instruction Development Center (通称:センター校)」(勉強会などの主催校)ではJOCV日本語教師(22年度2次隊)が活動中であり、連携しての活動も期待される。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・日本語の授業で生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など) ・授業や日本語クラブ、日本語キャンプ(文化祭)において日本文化の紹介 ・日常会話などを通じて、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 ・ピマーイ遺跡での日本語ガイドクラブの実施 ・センター校と連携しての日本語教育の向上、文化紹介の活動 センター校は、他校と合同の勉強会や日本語コンテスト等を開催し、地域内のリーダー的な役割を担う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、プロジェクター、パソコン、インターネット	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 外国語教師21名の内、タイ人日本語教師2①40代、女性、日本語会話レベル中級(英語兼任)②30代、男性、大卒(日本語専攻)日本語会話レベル中級。外国籍教師:イギリス2、フィリピン1、中国1

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(専門学校卒)( ) 学歴理由: 学校教師として必要なため ・経験( ) 経験理由: ・日本語教授法 理由: 日本語教育を行うための必須条件 理由:	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) ☐ (レベル: )

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)	
概地 況域	気候(熱帯モンスーン) 気温( 22~38°C位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

要請番号( JL 018 - 11 - B - 07 )

調査者名: 北井澄枝

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タイ	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	●新規	●2年	1	24 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)	○交替	○1年	2	24 / 2
		代目	○ヶ月	3	/
開発課題 産業振興のための基盤整備(人材育成・制度整備)					
配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education				
	2)配属先名 (日本語) プランクー中高校 (英語) Prangku School				
	3)任地 シーサケット県プランクー 首都( バンコク )から 北東 方向 570 Km 主要都市( シーサケット市内 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.0 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1967年設立の生徒数2200名、教師117名の中規模の中高一貫校。日本語教育は2004年から開始され、中学1年生から高校3年生までの約150名が選択科目もしくは選択必修科目として週28コマの授業と日本語クラブ活動を行っている。外国語は英語、中国語、韓国語、日本語がある。同校では日本語教師隊員(20年度4次隊)が活動を行った。				
要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者は、①タイ人日本語教師の日本語力、日本語教授法向上支援、②学生への直接指導、③日本の高校との文通プログラムや日本語キャンプ(文化祭)などの多くのイベントを実施し、配属先からは同様の活動が求められている。同校はタイ教育省が2010年より開始した「Japanese Language Instruction Development Center、通称:センター校」に指定され、他校と合同の勉強会や日本語コンテストなどの開催で同地方でのリーダー的な役割を担っており、それらの活動への協力も期待される。				
	2)期待される具体的業務内容 ・日本語の授業で生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など) ・授業や日本語クラブ、日本語キャンプ(文化祭)において日本文化の紹介 ・日常会話などを通じて、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 ・日本語キャンプやスピーチコンテストなど学校のイベントへの協力 ・センター校として傘下の学校の日本語教育の向上、文化紹介の活動支援				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、「みんなの日本語」(スリーエーネットワーク)、パソコン、インターネット、プリンタ				
要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 外国語教師14名の内、タイ人日本語教師3、①女性 公務員、20代、日能検3級②女性、公務員、30代、日能検3級(英語兼任)③男性、公務員、日本留学経験あり(コンピュータ兼任)。外国籍教師:中国1		5)業務使用言語(訓練言語は上段) タイ語 ( )		6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( )性別理由: ・学歴(専門学校卒)( )学歴理由: 学校教師として必要なため ・経験(実務経験)(2年以上)経験理由: センター校であるため ・日本語教授法 理由: 日本語教育を行うための必須条件 理由:				
資 格 条 件	活動用交通手段の必要性				研修等
	○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車				形態
				現職教員特別参加制度	x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概 地 況 域	気候(熱帯モンスーン) 気温( 22~38°C位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 7 月 6 日

要請番号( JL 018 - 11- B - 13 )

調査者名: 北井澄枝

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
タイ	職種 日本語教師 (コード 6852 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV		
	指導科目			1	24 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	24 / 2	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 産業振興のための基盤整備(人材育成・制度整備)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省基礎教育局 (受入機関名)(英語) Office of the Basic Education Commission, Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) クカン中高校 (英語) Khukhan School
	3) 任地 シーサケット県 クカン 首都( バンコク )から 北東 方向 570 Km 主要都市( シーサケット市内 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 1.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1950年設立の生徒数3500名、教師110名の中高一貫校。日本語教育は2010年から開始され、中学2年生と高校2年生、3年生の約600名に選択科目として週15コマの授業と日本語クラブ活動を行っている。外国語は英語、中国語、フランス語、ラオス語、カンボジア語、日本語がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) タイ人日本語教師は大学の教育学部日本語コースを卒業し、教授法についての知識はあるものの、自身の日本語能力不足(特に会話)を感じており、協力隊員から生徒への直接指導とともに、日常会話などを通して自身の能力の向上を図りたいと考えている。同校は日本語教育に熱心で、来年度より選択必修科目とする予定。 シーサケットの「Japanese Language Instruction Development Center (通称:センター校)」(勉強会などの主催校)には同時期にJOCV日本語教師が配属予定であり、連携しての活動も期待される。
	2) 期待される具体的業務内容 ・日本語の授業で生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など) ・授業や日本語クラブにおいて日本文化の紹介 ・日常会話などを通して、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 ・センター校と連携しての日本語教育の向上、文化紹介の活動 センター校は、他校と合同の勉強会や日本語コンテスト等を開催し、地域内のリーダー的な役割を担う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、パソコン、インターネット、プリンタ

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 外国語教師21名の内、タイ人日本語教師1名①20代女性、公務員、経験1年、1ヶ月留学経験あり。外国籍教師5:オーストラリア1、南アフリカ1、カメルーン1、ガーナ1、中国1	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) タイ語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	---	----------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(専門学校卒)( ) 学歴理由: 学校教師として必要なため ・経験( ) 経験理由: ・日本語教授法 理由: 日本語教育を行うための必須条件 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)	
概地 況域	気候(熱帯モンスーン) 気温( 22~38°C位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 2 日

要請番号( JL 033 - 11 - B - 01 )

調査者名: 矢野 史俊

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			1	24 / 1	年 月 から
				2	24 / 2	
3	24 / 3					
開発課題 相互理解の増進						
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 科学技術部 (受入機関名)(英語) The Ministry of Science and Technology					
	2) 配属先名 (日本語) 鶏東県朝鮮族中学 (英語) Jidong Korean Middle School					
	3) 任地 黒龍江省鶏西市鶏東県 首都( 北京 )から 北東 方向 1700 Km 主要都市( 鶏西 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 黒龍江省東部鶏西市の地方部、鶏東県に位置する小・中・高校を同敷地内に持つ学生数350名程度の朝鮮族学校。校内では主に朝鮮語が話される。日本語教育は1978年から開始され小学4年～高校3年生まで(計9学年)の学生が全員日本語を学んでいる。現在2代目の日本語教師隊員(平成21年度3次隊)が活動中。なお、黒龍江省は新潟県、北海道、山形県と友好都市関係にある。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 黒龍江省には多くの朝鮮族学校があり、大学入試科目となる第一外国語として日本語が教えられている。配属先においては特に日本語教育に力を入れており必修科目の扱い。現在2代目の隊員が活動中であり、主に大学入試を意識した学生の作文能力強化を実施している。作文指導にはネイティブ教師に圧倒的な強みがあるため、隊員赴任後、学生の作文能力が向上した他、黒龍江省スピーチコンテストにおいても隊員の指導の結果中等部・高等部ともに優勝者を出すなどの成果が出ている。配属先は日常外国人と触れ合う機会など無い地方部であり、このような地方部の学生がネイティブ教師の指導を受けられることの意義は大きい。					
	2) 期待される具体的業務内容 ①学生への授業。特に大学入試対策として、日本語作文能力をつけるための作文指導の授業が期待されている。会話等の授業については同僚教師と相談の上、必要に応じて実施する見込み。 ②黒龍江省スピーチコンテストに出場する学生に対するスピーチ指導。 ③日本語もしくは日本語教授法について同僚教師から求められる助言に適切に対応すること。 ●配属先は中等教育機関であるが、日本文化紹介等文化交流的な活動を授業外で行う機会はあまりなく、求められているのは主として大学入試に向けた学生の学力向上である。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 CDラジカセ。配属先には日本語教師職員室があり、同僚の日本語教師が机を並べている環境。					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 中国人日本語教師4名(全員女性)が在籍。主任は40代・経験20年程度。その他教師3名は30～40代・経験10～20年程度。学生は小学校4年から日本語学習開始。		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 中国語 ( ) その他 (朝鮮語) ( )		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) ☐ (レベル: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(大卒)( ) 学歴理由: 当国の教員採用事情による ・経験( ) 経験理由: ・日本語教授法 理由: 業務上不可欠な要件 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車					×	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地域況	気候(亜寒帯) 気温(-30～30℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)					



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV、○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 15 日

調査者名: 矢野 史俊

要請番号( JL 033 - 11 - B - 02 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 相互理解の増進

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 科学技術部 (受入機関名)(英語) The Ministry of Science and Technology
	2) 配属先名 (日本語) 瀋陽朝鮮族第二中学 (英語) Shenyang Korean Second Middle School
	3) 任地 遼寧省瀋陽市 首都( 北京 )から 北東 方向 630 Km 主要都市( 瀋陽 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 遼寧省の省都瀋陽市内の中高一貫朝鮮族学校(6学年:中1~高3).生徒数約700名、教職員数約100名。校内では主に朝鮮語が話される。現在日本語を学習する生徒数は230名程度。遼寧省の中等教育機関では日本語教育から英語教育へのシフトが目立つ中、本校は日本語教育を重視する姿勢を維持している。現在初代日本語教師隊員(平成22年度1次隊)が活動中。なお瀋陽市は札幌市、川崎市、佐世保市と友好都市関係にある。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 初代隊員が赴任して以来、特に学生の会話力や作文力が伸びるなど学習意欲の向上や、授業や日常のふれあいを通じた日本文化や日本の習慣理解促進等が見られている。また同僚教師についても、配属先の配慮によって同隊員赴任後新たに日本語教師職員室が設けられた事もあって隊員とのコミュニケーションがとりやすい環境にあり、日本人が良く使う言い回しが身に付く等成果につながっている。これらのことから学校側から高い評価を受け、後任要請に到った。隊員はこれまで中1~高3までの会話、聴解、作文の授業を担当。担当コマ数は学期によって変化があるが毎週10~14コマ程度を担当している状況。	
	2) 期待される具体的業務内容 ①学生(中1~高3:現在の総クラス数は10クラス)に対する会話、聴解、作文の授業。会話の授業を最も多く担当する予定。作文指導は主として高校生対象。 ②同僚教師の日本語能力及び日本語教授能力の向上のための支援  ●この他、場合によって、中学から高校への移行段階で履修外国語を英語から日本語に変えた学生への補修授業を担当する可能性あり	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プロジェクター等。配属先には日本語教師職員室があり、同僚の日本語教師が机を並べている環境。	
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 中国人日本語教師4名が在籍。主任は男性・40代後半・経験30年弱。その他教師3名はいずれも女性・30~40代・経験12~20年程度。学生は中学1年で日本語学習開始。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 中国語 ( ) その他 ( ) 朝鮮語 ( )
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )	

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(大卒)( ) 学歴理由: 当国の教員採用事情による ・経験( ) ( ) 経験理由: ・日本語教授法 理由: 業務上不可欠な要件 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜寒帯) 気温(-25~30℃位) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
電話	<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 15 日

要請番号( JL 033 - 11 - B - 03 )

調査者名: 矢野 史俊

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ●交替 4 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	24 / 2	
指導科目(英)	3	24 / 3				
開発課題 相互理解の増進						
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 科学技術部 (受入機関名)(英語) The Ministry of Science and Technology					
	2) 配属先名 (日本語) オルドス市第三中学 (英語) Erdos No.3 Middle School					
	3) 任地 内蒙古自治区オルドス市東勝区 首都( 北京 )から 西 方向 550 Km 主要都市( オルドス )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) モンゴル族の文化が色濃く残る一方、近年経済発展も著しいオルドス市にある2000年設立の公立高校(高校1~3年生が在籍)。現在、学生数約3000名、教職員約250名の規模。外国語は2001年より英語に加え日本語クラスを開設。日本語を学習する生徒は現在165名程度。2005年から青年海外協力隊の派遣を開始し、これまで3名の日本語教師隊員が協力を行ってきた。それ以外の外国の援助は特に無し。					
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先ではこれまで3名の隊員がのべ4年半程度にわたり協力を実施してきた。隊員が配属先唯一の日本人教師として、中国人日本語教師の日本語能力の向上と、教授法等への助言、授業を通じた学生の日本語能力向上、日本に対する理解の増進等に取り組んできたことが配属先に高く評価されており、後任の要請に到った。中国人日本語教師との技術交流や学生に対する授業という基本的活動以外にも、問題集の作成や日本の学校との文通の実施なども行ってきた経緯があり、これらネイティブの強みを活かした活動によって配属先の日本語教育の質の向上に貢献してきている。					
	2) 期待される具体的業務内容 ① 作文及び会話を中心とした授業を実施する(週6コマ程度の担当を予定)。特に作文能力強化を中心とした大学入試に向けた指導が期待されている。 ② 同僚教師との技術交流を通じた同僚教師の日本語能力及び日本語教授能力向上、練習問題の作成。なお、若手教師もいるため、過去に実施していたこともある、隊員とのチームティーチングも実施したい意向あり。 ③ 授業において日本文化を紹介し日中交流の促進を行うこと。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 テープレコーダー、CD、DVD、パソコン、プロジェクター。日本語教師職員室があり同僚と机を並べる環境。					
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 中国人日本語教師3名が在籍。主任は男性・40代・経験10年。その他教師2名はいずれも女性・30代・経験2~5年。学生は高校1年から日本語学習開始。		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 中国語 ( ) ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( )性別理由: ・学歴(大卒)( )学歴理由: 当国の教員採用事情による ・経験( )経験理由: ・日本語教授法 理由: 業務上不可欠な要件 理由:					
活動用交通手段の必要性				研修等	形態	
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					現職教員特別参加制度 x	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地域況	気候(亜寒帯) 気温(-30~30℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

調査者名: 亀田 春雄

要請番号( JL 033 - 11 - B - 08 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 相互理解の増進

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 科学技術部 (受入機関名)(英語) The Ministry of Science and Technology
	2) 配属先名 (日本語) ハルビン市朝鮮族第一中学 (英語) Haerbin Korean No.1 Middle School
	3) 任地 黒龍江省ハルビン市 首都( 北京 )から 北東 方向 1200 Km 主要都市( ハルビン市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 省都ハルビン市中心部から車で10分程の場所に位置する朝鮮族学校。校内では主に朝鮮語が話される。中等部(3年)と高等部(3年)がある。1947年創立。全校生徒数約1000人、教師数約120人。海外からの援助実績はない。なお、黒龍江省は北海道、新潟県、山形県と、ハルビン市は新潟市、旭川市と友好都市関係にある。 <a href="http://www.hrbcyz.com/">http://www.hrbcyz.com/</a>

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 黒龍江省には多くの朝鮮族学校があり、大学入試科目となる第一外国語として日本語が教えられている。同校はその中心となっている学校で、現在ハルビン市内では日本語を第一外国語として選択できる唯一の中等教育機関である。中等部で約50人、高等部で約160人が日本語を学んでいる。(2011年6月現在)大学入試のためだけでなく、会話を含めた生徒の日本語能力の向上や、教師の日本語能力と指導力向上への協力が期待されている。なお、今後黒龍江省内の複数の中等教育機関に日本語教師隊員を派遣する予定である。
	2) 期待される具体的業務内容 ① 中等部1・2年生、高等部1・2年生の会話の授業。 ② 学校内外の作文コンテストやスピーチコンテストのための指導。 ③ 教師の日本語能力や日本語教授能力向上のための勉強会の開催。 (週1回1時間の日本語科の会議の時間などを利用)  この他に、大学入試対策のための授業をする場合もあり。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 外国語教師用職員室(日本語と英語の教師用)、コンピュータ、コピー、プロジェクター

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 日本語教師は5名で全員女性。主任は30代で日本の大学院を最近卒業したばかり。他の4名(30~40代)も長短の差はあるが、全員日本滞在経験がある。生徒は中学1年から日本語学習を開始。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 中国語 ( ) その他 (朝鮮語) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(大卒) ( ) 学歴理由: 当国の教員採用事情による ・経験( ) ( ) 経験理由: ・日本語教授法 理由: 業務上不可欠な要件 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地域 気候(亜寒帯) 気温(-25~38℃位) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし

要請番号( JL 033 - 11 - B - 09 ) 調査者名: 亀田 春雄

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
中華人民共和国	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ●交替 3代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor			2	24 / 2	
指導科目(英)	3	24 / 3				

開発課題 相互理解の増進

1) 受入省庁名(日本語) 科学技術部  
 (受入機関名)(英語) The Ministry of Science and Technology

2) 配属先名 (日本語) 赤峰学院附属中学  
 (英語) The affiliated Middle School of Chifeng College

3) 任地 内蒙古自治区赤峰市  
 首都( 北京 )から 北東 方向 350 Km  
 主要都市( 赤峰市 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 学校は1970年創立で、他の学校との合併により2005年に現在の赤峰学院附属中学となった。中等部(3年)と高等部(3年)がある。生徒数はそれぞれ約150人と約1300人で、教職員数約170人。日本語は2006年から高等部の第一外国語として教えられており、学習者数は合計約210人(2011年6月現在)。海外からの援助実績はない。赤峰市は愛知県稲沢市と友好都市関係にある。 <http://www.cfxyfz.com.cn/>

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 日本語は大学入試科目となる第一外国語として教えられている。過去2代の隊員が、授業を通しての生徒の日本語能力向上、現地教師への教授法に対する助言、日本文化紹介などの活動を行ってきたが、当時(2代目は19年度2次隊)と比べて現在は若い現地教師が1名増え、また2011年9月からはさらにもう1名採用予定であることから、期間を空けての後任要請に至った。車で1時間半の距離にある同市の別の区の中高等学校にも今後日本語教師隊員を派遣する予定である。  
 なお、系列の赤峰学院(大学)で22年度2次隊の日本語教師隊員が活動中である。

2) 期待される具体的業務内容  
 ①発音(聴解)、会話、作文を中心とした授業の担当。  
 特に作文の授業においては、大学入試に向けた指導が期待されている。  
 ②現地教師の日本語能力や日本語教授能力向上のための協力。  
 ③日本文化紹介の授業担当、及び日中交流の促進。  
 ④問題集の作成。  
 同校は早ければ2012年9月に中学部でも日本語クラスを開講の意向で、そのための協力も期待される。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 外国語教師用職員室(日本語と英語の教師用)、コンピュータ、プロジェクター

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 現地日本語教師は2名。主任は男性で40代後半、経験25年程度。もう1名は女性で、20代後半、経験2年。2011年9月からさらに1名を採用予定。  
 生徒は高校1年から日本語学習を始めた高校1~3年生。

5) 業務使用言語(訓練言語は上段)  
 中国語 ( )  
 その他 ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: D)  
 (レベル: )

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)  
 ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由:  
 ・学歴(大卒)( ) 学歴理由: 当国の教員採用事情による  
 ・経験( ) 経験理由:  
 ・日本語教授法 理由: 業務上不可欠な要件  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜寒帯) 気温(-15~30℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)  
 況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○BSV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 30 日

調査者名: 高橋 和久

要請番号( JL 045 - 11- B - 08 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モンゴル	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ◎交替 3代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 人材育成

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ウランバートル市 (受入機関名)(英語) Ulaanbaatar City
	2) 配属先名 (日本語) 教育局 (英語) Department of Education
	3) 任地 ウランバートル 首都( ウランバートル )から 北 方向 0 Km 主要都市( ウランバートル )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ウランバートル市の幼稚園、初中等教育を管轄する行政機関。初中等教育の水準を高めるために、教師や教育の質の向上等に携わる。スタッフは30名、年間予算は約1億2千万円。2011年7月現在、日本語教育分野は長期SV1名、長期JV3名が活動を行っている。現在日本以外からのボランティア受入れ実績は無い。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当国に対してはこれまで約50名の日本語教師ボランティアが個別の学校に派遣され、日本語教育の質の向上や現地日本語教師の育成に寄与してきた。しかし、近年日本語の需要が増しつつも教師の定着率が低い現状を踏まえ、単一学校派遣型から巡回指導型に移行した。現在教育局に派遣中のボランティアは、市内初中等教育機関を対象とした巡回指導や現地日本語教師を対象とした勉強会等、様々な活動を行っているが、引き続き現地教師のレベル向上、日本語スタンダード定着に取り組む必要があることから、今回のボランティア要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 ①ウランバートル市教育局管轄の初中等教育機関(現状7校程度)への巡回指導(チームティーチング)等 ②モンゴル人日本語教師を対象とした教育局での勉強会及び各種イベントの開催 ③日本語スタンダードの定着、カリキュラム策定等	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ラジカセ等音響機器、パソコン、コピー機	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 外国語主任: 女性1名、40代(英語を解する) 巡回先日本語教師: 男女複数名、20~50代	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) モンゴル語 ( ) ( )

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(大卒) (教育学) 学歴理由: 大卒教師に対して指導するため ・経験(実務経験) (5年以上) 経験理由: 巡回指導業務上不可欠 ・日本語教授法 理由: 業務上不可欠 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車		P	×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(大陸性) 気温(-30~30℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
-----	---



要請番号( JL 045 - 11 - B - 09 ) 調査者名: 高橋 和久

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モンゴル	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 人材育成

1) 受入省庁名(日本語) ウランバートル市  
 (受入機関名)(英語) Ulaanbaatar City

2) 配属先名 (日本語) 教育局  
 (英語) Department of Education

3) 任地 ウランバートル  
 首都( ウランバートル )から 北 方向 0 Km  
 主要都市( ウランバートル )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
 ウランバートル市の幼稚園、初中等教育を管轄する行政機関。初中等教育の水準を高めるために、教師や教育の質の向上等に携わる。スタッフは30名、年間予算は約1億2千万円。2011年7月現在、日本語教育分野は長期SV1名、長期JV3名が活動を行っている。現在日本以外からのボランティア受入れ実績は無い。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
 当国に対してはこれまで約50名の日本語教師ボランティアが個別の学校に派遣され、日本語教育の質の向上や現地日本語教師の育成に寄与してきた。しかし、近年日本語の需要が増しつつも教師の定着率が低い現状を踏まえ、単一学校派遣型から巡回指導型に移行した。現在教育局に派遣中のボランティアは、市内初中等教育機関を対象とした巡回指導や現地日本語教師を対象とした勉強会等、様々な活動を行っているが、引き続き現地教師のレベル向上、日本語スタンダード定着に取り組む必要があることから、今回のボランティア要請となった。

2) 期待される具体的業務内容  
 ①ウランバートル市教育局管轄の初中等教育機関(現在は7校)への巡回指導(チームティーチング)等  
 ②モンゴル人日本語教師を対象とした教育局での勉強会及び各種イベントの開催  
 ③日本語スタンダードの定着、カリキュラム策定等

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
 ラジカセ等音響機器、パソコン、コピー機

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
 外国語主任: 女性1名、40代  
 巡回先日本語教師: 男女複数名、20~50代

5) 業務使用言語(訓練言語は上段)  
 モンゴル語  
 ( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: B)  
 (レベル: )

資格条件  
 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)  
 ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由:  
 ・学歴(大卒)(教育学) 学歴理由: 大卒教師に対して指導するため  
 ・経験(実務経験)(5年以上) 経験理由: 巡回指導業務上不可欠  
 ・日本語教授法 理由: 業務上不可欠  
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(大陸性) 気温(-30~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)  
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 26 日

調査者名: 池田 敬

要請番号( JL 051 - 11- B - 05 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
バングラ デシュ	職種 日本語教師 指導科目	(コード 6852 )	◎ 新規	◎ 2 年	1 24 / 1	年 月 から
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)		○ 交替	○ 1 年	2 24 / 2	
			代目	○ ヶ月	3 24 / 3	

開発課題 バングラデシュ その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) チッタゴン工科大学 言語センター (英語) Language Center, Chittagong University of Engineering and Technology
	3) 任地 チッタゴン県 首都( ダッカ )から 南東 方向 260 Km 主要都市( ダッカ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 6 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 2003年に設立された国立工科大学で、電気・電子工学、コンピュータ科学技術、建築等の学部がある。学生数は約2500名。大学年間予算は約2億円、言語センターは約200万円で運営されている。同センターは2010年に設立され、現在3名の語学講師により日本語初心者コースが実施されており、今後英語やドイツ語等複数の外国語コースの開設を予定している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2010年に新規開設された日本語初心者コース(6か月間)は週3回授業が行われており、現在25名の学生が同コースを受講している。しかし、語学講師3名は日本語教授法等の資格を保有しておらず、本格的な授業を実施するための知識や経験が不足しているため、同コースの運営や中上級コースの新規開設において専門的な支援を提供できるボランティアが要請された。また、日本語コースの運営支援に加え、日本の文化および社会等についての講義や広報活動が期待されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語初心者コースでの生徒に対する指導、カリキュラム改善及び教材開発に関する支援</li> <li>日本語講師に対する教授法の指導</li> <li>年に2回実施されている日本語能力検定試験(1~5級)受験対策のための中上級コース新規開設支援</li> <li>日本文化、社会、歴史、習慣等についてのセミナーやイベントの企画立案と実施</li> <li>言語センターの運営全般へのアドバイス</li> </ul>	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本語教科書「みんなの日本語」、DVD教材	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 言語センター長(男性 60代) 言語センター講師(男性 30代) 言語センター講師(男性 60代)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ベンガル語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
---	---	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教諭免許( )</li> <li>性別( )</li> <li>学歴( )</li> <li>経歴(実務経歴) (2年以上)</li> <li>日本語教授法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別理由:</li> <li>学歴理由:</li> <li>経歴理由: クラスの運営に携わるため</li> <li>理由: 専門的な知識が必要なため</li> <li>理由:</li> </ul>

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯モンスーン) 気温( 10~40℃位)	電気(□安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 □なし)
	電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 □不良 □なし )	水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 □不安定 □なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 4 月 27 日

要請番号( JL 054 - 11 - B - 01 )

調査者名: 羽根岡桂子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インド	職種 日本語教師 (コード 6852 )	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から
開発課題 インド その他開発課題					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development				
	2) 配属先名 (日本語) プネ大学外国語学部日本語学科 (英語) Japanese Section, Foreign Language Department, University of Pune				
	3) 任地 マハラシュトラ州プネ 首都( デリー )から 南 方向 1417 Km 主要都市( ムンバイ市内 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) インド国内では比較的気候・治安がよく生活しやすいプネに1948年に設立された総合大学。46学部と大学院からなる。日本語学科は外国語学部にて1976年に開講され、4コースの公開講座を運営している。プネはインドで最も日本語学習者が多い市であり、同学科には現在約500名の学生が在籍し、15名の現地人講師と1名の協力隊員でコースを担当している。同学科に対する他国からの援助はない。年間予算は約7万9千USD。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先の日本語学科は公開講座を運営している。現在4コース(初級、初中級、中級、上級)が開設されており、各180時間/1年間で、計498名の学生が学んでいる。現在2代目の隊員が、主に中級クラスを担当しながらすべてのクラスに参加し、すべての学生と触れ合う機会を作るよう工夫している。また、ワークブックの作成やワークショップ開催など、同僚教師や学生を巻き込んだ形での活動を展開中である。インドで最も日本語学習が盛んで、そのレベルも高いプネの中心となる大学での日本人日本語教師の存在は、教育レベル・内容向上に寄与しており、効果継続・拡大を期待して今回の要請となった。				
	2) 期待される具体的業務内容 配属先教師と協力しながら、主に以下の活動内容が期待されている。 ①上級コースの教材作成を支援する。 ②現地人講師の日本語運用能力向上のための勉強会(基本的に週1回の頻度で開催)の設定・実施を支援する。 ③学生・現地人講師に対する現代日本に関する知識や日本文化紹介を実施する。 ④学生・現地人教師にネイティブ教師と交流・会話する機会を提供する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 日本語初歩 I・II、中級日本語、新日本語の中級・商談のための日本語・ビジネスのための日本語、CDラジカセ、テレビ、DVD、プロジェクタ、PC(日本語可)				
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地人講師: 15名(20-40歳代の男女) 内 日本語修士1名、日本語能力検定1級7名、2級8名 日本語教授経験は1年未満から12年まで多様。		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 ( マラティ語 )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許( )・性別( ) 性別理由: ・学歴( )( ) 学歴理由: ・経験(実務経験)(2年以上) 経験理由: 業務遂行上必要 理由: 業務遂行上必要 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a.エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(モンスーン) 気温( 5~40℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 15 日

調査者名:羽根岡桂子

要請番号( JL 054 - 11- B - 02 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インド	職種 日本語教師 (コード 6852 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Japanese Language Instructor			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 インド その他開発課題

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 人的資源開発省 (受入機関名)(英語) Ministry of Human Resource Development
	2)配属先名 (日本語) ブルーベルズ スクール インターナショナル (英語) Bluebells School International
	3)任地 デリー 首都( デリー )から 北 方向 0 Km 主要都市( デリー市内 )までの交通手段及び所要時間( 徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) インドが誇るノーベル文学賞詩人タゴールの思想「全体の調和、万物の連動」を尊び、世界各国の学校と交換留学プログラムを積極的に推進している私立学校である。多国籍の子供たち(アフリカ・北朝鮮・ラオス等)の在籍や11年生以上の生徒への選択言語(日本語・仏語・中国語・独語・露語・西語)のうち日仏中語の導入が行なわれている。創立1957年、在校生約2000、教師数約150名。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校にはこれまで国際交流基金実施のYJTPプログラムにより若手日本語教師が10ヶ月間、2期派遣された実績がある。日本語は6年生から11年生まで75名の生徒が学習しており、専門の日本語教師1名が教えている。日本語授業は毎週月から金まで毎日あり、1コマ30分×23コマ(6-11年生までの合計)の授業が実施されている。インドの大学受験制度の関係もあり、国内で11年生以上の日本語授業が実施されている学校はあまり多くない。高学年生徒の意欲・学力を伸ばし、高等教育校での日本語教育へと繋ぎ、全体の日本語教育レベルを向上させるために、同校の日本語教育推進を支援することは重要であり、隊員派遣が期待される。	
	2)期待される具体的業務内容 配属先教師と協力しながら、主に以下の活動内容が期待されている。 ①教師・生徒に対する日本語の正しい発音・会話・漢字などの指導支援。 ②教師・生徒に対する現代日本に関する知識や日本文化紹介の実施(特に折り紙、歌など) ③生徒(主に11年生)に対する日本語能力検定(JLPT)受験のための指導支援。(特にN5, N4, N3程度) ④学校行事への参加・協力	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 言語学習教室、PC、プロジェクター、CDプレーヤー、教科書(うめ、もも、みんなの日本語1・2、Basic Kanji Book、にほんごチャレンジ かんじ)視聴覚教材(楽しく聞こう、エリンが挑戦)	
4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地人教師1名、女性、30歳代、日本語能力検定3級取得	5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 (ヒンディー語 )	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴( )( ) 学歴理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: 業務遂行上必要 理由: 業務遂行上必要 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 地 況 域	気候(サバナ ) 気温( 0~45℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
------------------	---

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

記入日:平成 23 年 6 月 16 日

要請番号( JL 066 - 11 - B - 04 ) 調査者名:小椋 知子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
スリ ラ ン カ	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV		
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			1	24 / 1	日系/短期等 年 月 から
				2	24 / 2	
3	24 / 3					

開発課題 社会サービスの改善

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 教育省  
(受入機関名)(英語) Ministry of Education

2) 配属先名 (日本語) 英語・外国語局  
(英語) English and Foreign Language Branch

3) 任地 キャンディ県キャンディ  
首都( スリジャワワルダナプラコッテ )から 北東 方向 116 Km  
主要都市( コロンボ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)  
配属先はスリランカの公的教育を監督する教育省本省の一部局であり、外国語教育のモニタリング、評価、監督や研修を通じて、公立学校における外国語教育の促進に取り組んでいる。現在、スリランカでは国際交流基金の専門家1名と協力隊員1名が2つの大学で日本語を教えており、さらに現役教師向けの研修実施のためのシニアボランティアの要請も検討されている。本配属先の予算は未公開。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)  
2009年に高校日本語のシラバスが改正され、2010年に高校日本語の新教科書が完成した。新しいシラバスでは、コミュニケーション能力の向上に主眼が置かれている。キャンディには熱心に日本語教育を推進する高校が3校あり、それらの学校を巡回し教員とともに生徒への指導を行うとともに、課題となっているコミュニケーション能力を伸ばす教授法を定着させることが求められている。

2) 期待される具体的業務内容  
1. 赴任当初は、各学校の日本語教師と各学校の日本語教育の現場を視察し、現場の日本語教育状況を調査する。また任国の教育事情、教育システムの理解に努める。  
2. 巡回校にて会話や日本文化紹介を中心とした生徒指導、教員への助言を行う。必要に応じてワークショップやセミナーを実施する。日本文化紹介等のイベント開催に積極的に協力する。  
3. 毎月一回コロンボで開催される、スリランカの日本語教育関係者の勉強会である「教師会」に参加し、巡回先以外の日本語教師たちの活動を支援する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等  
教室(黒板、いす、机)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル  
巡回校の日本語教師(女性2名、男性1名、大卒日本語専攻者を含む、30~50代)  
巡回校の日本語学習生徒数 約90名

5) 業務使用言語(訓練言語は上段)  
シンハラ語 ( )  
( )

6) 選考指定言語  
 英語 (レベル: B)  
 (レベル: )

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)

- ・教諭免許( ) ・性別( ) 性別理由:
- ・学歴(大卒)( ) 学歴理由: 教員への指導も行うため
- ・経験(実務経験)(3年以上) 経験理由: 日本語教師としての応用的指導力が必要
- ・日本語教授法 理由: 教育機関での指導のため
- 理由:

活動用交通手段の必要性

研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況

気候(熱帯) 気温( 25~32℃位) 電気(安定 不安定 なし)  
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 23 日

調査者名: 根本 尚

要請番号( JL 215 - 11- B - 01 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
コスタ リ カ	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	○新規 ●交替 11 代目	●2 年 ○1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			1	24 / 2	年 月 から
				2	/	
3	/					

開発課題 市民生活の質向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国立ナショナル大学(UNA) (受入機関名)(英語) National University
	2) 配属先名 (日本語) 文学哲学部 文学言語学科 (英語) Faculty of Literature Philosophy, School of Literature and Linguistics
	3) 任地 エレディア県エレディア市 首都( サンホセ県サンホセ市 )から 北 方向 12 Km 主要都市( サンホセ県サンホセ市 )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.7 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1973年創立の国立大学。8つの学部と関連機関があり、本キャンパス以外に国内2か所にキャンパスを有し、総学生数は15,982名(本キャンパスには12,992名)。2011年度の予算は約158,000米ドル。配属先の文学言語学科では、英語・仏語・中国語・ポルトガル語・日本語を開講しており、日本語は選択外国語の一つである。2学期制で各学期18週。現在JOCV1名とSV1名の日本語教師が活動中。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 今回で11代目となる日本語教師の要請である。配属先は日本語クラスを通じて、学生達へ日本文化や伝統、習慣に触れる機会の提供を望んでおり、学生達の異文化理解を深めることを希望している。前任者は日本語1から4までを一人で担当しているが、日本語を選択希望する学生が増え、クラス増設が行われることに伴い、2011年4月からSVの日本語教師が着任している。今後のクラス運営を継続していくためにも、日本語教師の派遣が必要であることから、本件の要請となった。授業は2学期制で各学期18週で運営されている。2011年前期の生徒数は、日本語1が25名、日本語2が15名、日本語3が8名、日本語4が6名。
	2) 期待される具体的業務内容 (1) 大学生向け日本語クラスでの授業実施 『日本語1、日本語2、日本語3、日本語4を各2時間×2回/週』 (2) 日本語教材の整備及び改善 (3) 日本文化・日本紹介活動の実施 (4) 大使館主催のスピーチコンテスト、中米カリブ日本語教育セミナー関連業務。 2011年後期から『日本語1』のクラスが1つ増え、『日本語1』は2クラス体制になる。 2012年前期から『日本語5』のクラスを開講予定。 *業務内容については、同僚SVとともに、お互いの経験等を活かした形で調整し、臨機応変に対応する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 LL教室、ラジカセ、ビデオ、コンピューター、事務用品

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学科長(30代男性)、同僚(40代男性、英語科、日本語は少し出来るレベル)、アシスタント1名(20代男子学生、日本語学習者) ※同僚日本語教師としてシニア海外ボランティア1名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)		

・教諭免許( )	・性別( )	性別理由:
・学歴(大卒)	( )	学歴理由: 同僚と同等の学歴程度
・経験(実務経験)	(2年以上)	経験理由: 運営全体に携わるため
・日本語教授法		理由: 大学で指導するため、最低限必要
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a.エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温( 25℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--

要請番号( JL 548 - 11 - B - 07 ) 調査者名: 五味 香代子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タンザニア	職種 日本語教師 (コード 6852 ) 指導科目	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Japanese Language Instructor 指導科目(英)			2	/
				3	/

開発課題 教育のアクセス拡充及び質の向上支援

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育職業訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Vocational Training
	2) 配属先名 (日本語) ドドマ大学 (英語) The University of Dodoma
	3) 任地 ドドマ州ドドマ 首都( ダルエスサラーム )から 西 方向 400 Km 主要都市( ドドマ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ドドマ大学は東アフリカ最大規模の大学をめざし、教育、人文社会学科、情報学科などの学部の拡張にも力を入れている。人文社会学科に日本語をはじめアラビア語、韓国語、中国語などのコースを設けている。予算は年間4億円。現在、2年目の日本語コースでJOCVが活動している他、韓国語コースは韓国ボランティアが同様に教えている。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同大学では社会における卒業生の即戦力化を目指し語学に力を入れており、2009年、日本語コースを設立しボランティアが講師として教えている。現在、選択科目では10名程、本科生としては3名の学生が学んでいる。今後は本科生が進級し、新入生も入ってくるが、カウンターパートとなりえる日本語教師の養成には至っておらず、引き続きボランティアが中心となってコースを運営していく必要があることから、後任の要請に至った。
	2) 期待される具体的業務内容 日本語教師として、タンザニア人学生に日本語を教える。 ①日本語コース全体のシラバス及びカリキュラムの作成。 ②同コースの学生への講義、試験問題の作成実施及び評価と一貫した指導。 ③セミナーやイベントの開催が期待されている。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 研究室、プロジェクター
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 教師数: 大学全体 約100名 その他スタッフ: 約100名 学生は高卒以上レベル 約5,000人
	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) スワヒリ語 ( )
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許 ( ) ・性別 ( ) 性別理由: ・学歴 (大卒 ) (業務関連分野) 学歴理由: 高校卒業以上の学生に教えるため必須 ・経験 (実務経験 ) (2年以上) 経験理由: 大学側の要望 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車			x

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(内陸性 ) 気温( 15~30℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )
況域	電話( <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 24 日

調査者名: 末満 広志

要請番号( JL 006 - 11- B - 02 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 理数科教師 (コード 6901 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			3	/

開発課題 貧困削減

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2) 配属先名 (日本語) 北ミナハサ県教育局 (英語) North Minahasa Local Government, Education Office
	3) 任地 北スラウェシ州北ミナハサ県 首都( ジャカルタ )から 北東 方向 2000 Km 主要都市( マナド )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同県はミナハサ県から分離して5年目の新しい県で、10の郡、人口19万人からなる。県教育局は国民教育省の監督の下、幼稚園から高校までの教育全般をみる行政機関である。県下には公立中学37校、私立中学が34校ある。JICAの「前期中等教育の質の向上プロジェクト」(2009-2013)の対象地域である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) インドネシアの教育制度は6-3-3制で小中学校は義務教育とされているが、教育の質の悪さなどで学校に行くことに興味をなくしたり、経済的理由などから中途退学するなどでは達成できていない。上記プロジェクトでは、学校運営改善や教師の質の向上などに成果が上がってきているが、対象地域が広く地域密着型ではないため、学校単位での協力の面ではばらつきがある。地域密着型のボランティアを派遣し、プロジェクトと緩やかに連携して学校単位で活動を展開することによってさらなる教育の質の向上を図るために、県教育局から派遣要請が出された。	
	2) 期待される具体的業務内容 中学校を選定し、校長や同僚教師と協働して理科教育の質の向上のために以下の活動を実施する。 ① 中学での理科教育の実態を把握する。 ② チームティーチングで理科授業を担当する。 ③ 理科授業の改善のためのアイデアを提言する。 ④ 地域の中学校で授業研究を実施する。 ⑤ 四半期ごとに業務報告を県教育局に実施し、活動の意見交換をする。 必要に応じてプロジェクトと意見交換を行い、活動の方向性などを検討する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 教室、理科実験室、物理・生物教材	

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 県保健局カリキュラム課長(男1名) 中学校の理科教師(大卒程度)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( ) ( )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	---	---	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・ 教諭免許(中・理 ) ・ 性別( ) 性別理由: ・ 学歴 ( ) ( ) 学歴理由: ・ 経験 (実務経験) (5年以上) 経験理由: 実践的な指導が必要 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温( 25-35℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし ) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし ) 水道( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし )
----------	---





平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 29 日

要請番号( JL 006 - 11 - B - 06 )		調査者名: 間澤 友紀子				
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
インドネ シア	職種 理数科教師 (コード 6901 )	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	24 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	24 / 2	
指導科目(英)	3	24 / 3				
開発課題 貧困削減						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education					
	2) 配属先名 (日本語) ランチャカロン中学校 (英語) Rancakalong Junior High School					
	3) 任地 西ジャワ州スメダン 首都( ジャカルタ )から 南東 方向 200 Km 主要都市( バンドン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 西ジャワ州スメダン県に位置する公立中学校である。学生数613人、教師数47名。JICAのPELITAプロジェクト(前期中等教育の質の向上プロジェクト)の対象校である。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) インドネシアの教育制度は6-3-3制で小中学校は義務教育とされているが、教育の質の悪さなどで学校に行くことに興味をなくしたり、経済的理由などから中途退学するなど、完全には達成できていない。上記プロジェクトでは、学校運営改善や教師の質の向上などに成果が上がってきているが、対象地域が広く地域密着型ではないため、学校単位での協力の面ではばらつきがある。地域密着型のボランティアを派遣し、プロジェクトと緩やかに連携して学校単位で活動を展開することによって、さらなる教育の質の向上を図るために、県教育局から派遣要請が出された。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. 教育の質の向上プロジェクト(教員の指導力を高めるための研修)で紹介される授業研究を、配属校および近隣の学校にて定着できるように支援・助言を行う。 2. 授業計画の立案、授業における実験の導入を推進する。 3. IT(チームティーチング)の授業を通して、現地教員の指導力の向上を図る。 4. MGMP(他校を含めた地域の教員勉強会)への参加。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実験室、物理・生物教材					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科教師大卒程度 4名 男性2名、女性1名(40代) 女性1名(20代)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( )		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許(中・理 ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(大卒 ) (理系 ) 学歴理由: 教師陣が大卒以上のため ・経験(実務経験 ) (5年以上 ) 経験理由: 配属先からの要請による 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性 ○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			研修等	形態	現職教員特別参加制度 x	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x 現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概 況	気候(熱帯雨林 ) 気温( 25~35℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 29 日

調査者名: 間澤 友紀子

要請番号( JL 006 - 11- B - 07 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
インドネ シア	職種 理数科教師 (コード 6901 )	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目			1 24 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2 24 / 2	
	指導科目(英)	3 24 / 3			

開発課題 貧困削減

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国民教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of National Education
	2) 配属先名 (日本語) ゴンダンウエタン中学校 (英語) Gondanwetan Junior High School
	3) 任地 東ジャワ州パスルアン 首都( ジャカルタ )から 東 方向 1000 Km 主要都市( スラバヤ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 東ジャワ州パスルアン県に位置する公立中学校である。学生数630人、教師数34名。JICAのPELITAプロジェクト(前期中等教育の質の向上プロジェクト)の対象校である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) インドネシアの教育制度は6-3-3制で小中学校は義務教育とされているが、教育の質の悪さなどで学校に行くことに興味をなくしたり経済的理由などから中途退学するなどでは完全には達成できていない。上記プロジェクトでは、学校運営改善や教師の質の向上などに成果が上がってきているが、対象地域が広く地域密着型ではないため、学校単位での協力の面ではばらつきがある。地域密着型のボランティアを派遣し、プロジェクトと緩やかに連携して学校単位で活動を展開することによってさらなる教育の質の向上を図るために、県教育局から派遣要請が出された。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 教育の質の向上プロジェクト(教員の指導力を高めるための研修)で紹介される授業研究を、配属校および近隣の学校にて定着できるように支援・助言を行う。 2. 授業計画の立案、授業における実験の導入を推進する。 3. IT(チームティーチング)の授業を通して、現地教員の指導力の向上を図る。 4. MGMP(他校を含めた地域の教員勉強会)への参加。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 実験室、物理・生物教材	
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科教師大卒程度 5名(うち1名非常勤講師)(30代~50代) 実験助手	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ( ) ( )
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル: )	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・ 教諭免許(中・理 ) ・ 性別( ) 性別理由: ・ 学歴(大卒 ) (理系 ) 学歴理由: 教師陣が大卒以上のため ・ 経験(実務経験 ) (5年以上 ) 経験理由: 配属先からの要請による 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯雨林 ) 気温( 25~35℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---



事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 22 日

要請番号( JL 021 - 11 - B - 01 )	調査者名: 小杉 尚子
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目 (コード 6901 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジア	職種 理数科教師 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	24 / 2
				3	24 / 3
				年 月	から

開発課題 教育分野への支援

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2) 配属先名 (日本語) カンポット州小学校教員養成校 (英語) Provincial Teachers Training Center, Kampot
	3) 任地 カンポット 首都( プンペン )から 南西 方向 148 Km 主要都市( プンペン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 高校卒業後に入学する2年制の小学校教員養成校で、学生はカンポット州及びケップ特別市から集まる。教職員数26名。1年生88名(3クラス)、2年生101名(4クラス)がクメール語、数学、理科、社会、英語、心理学、体育などを学んでいる。イギリスVS0と米国ピースコーのボランティアが、それぞれ教授法、英語の支援を行っている。また体育・音楽支援で2代目の小学校教諭隊員も要請中。敷地内には付属小学校あり。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校の理科教育はJICAの理科教育改善計画プロジェクトの研修に参加しており、実験や観察を通じて生徒が主体的に学ぶ探求型授業の手法を取り入れ始めている。また同プロジェクトで推進されている授業研究にも取り組んでおり、授業改善への意識も高まってきている。現在活動中のボランティアは同プロジェクトと連携し、授業で実施する実験の提案や技術的な指導を行っているが、教官自身が効果的に実験を取り入れられるようになるためにはさらに継続指導が必要であると、後任ボランティアの要請に至った。今後は算数の授業改善に取り組む事も期待される。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 小学校理科のカリキュラムの中で実施可能な実験・実習を同僚教官とともに計画し、実施する。 技術的な指導だけでなく、実験や実習を効果的に用いた授業作りを提案し、指導する。 2. 学生が赴任する小学校には実験器具はほとんどないため、身の回りのものを活用した実験・実習教材を 考案し、同僚教官や学生に紹介する。 3. 他の理科教師隊員とともに理科や算数の研修会を企画し、実施する。 隊員が派遣されていない州の教員養成校教官や、付属小学校・近隣の小学校教諭に対する研修会の実施も期待される。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各種薬品、アルコールランプ、試験管、試験管立て、ピーカー、温度計、電流計、電圧計、永久磁石、バネばかりなど。	
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科担当: 女性2名(40代・教務主任、50代) 男性1名(40代) 算数担当: 女性1名(30代) 男性2名(30代・教頭、50代)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( ) ( )
	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) ☐ (レベル: )	

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・教諭免許(中・理 )・性別( ) 性別理由:
・学歴(大卒 ) (業務関連分野) 学歴理由: 教員養成校で指導するため
・経験(実務経験 ) (5年以上) 経験理由: 教員養成校での勤務となるため
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況	気候(熱帯モンスーン ) 気温( 25~40℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
------	---



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 22 日

要請番号( JL 021-11-B-02 )

調査者名:小杉 尚子

国名	職種/指導科目 (コード 6901 )	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジ ア	職種 理数科教師 指導科目	○新規 ◎交替 2代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	24 / 2
				3	24 / 3
年 月 から					

開発課題 教育分野への支援

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2)配属先名 (日本語) コンポンチュナン州小学校教員養成校 (英語) Provincial Teachers Training Center, Kampong Chhnang
	3)任地 コンポンチュナン 首都( プノンペン )から 北西 方向 91 Km 主要都市( プノンペン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 高校卒業後に入学する2年制の小学校教員養成校。校長1名、副校長2名、教員14名。学生は各学年約80名で、3クラスずつに分かれてクメール語、数学、理科、社会、英語、心理学、体育などを学んでいる。敷地内には付属小学校(児童約500名、教員17名)がある。100mほど離れたところにアジア開発銀行の支援によるリソースセンターが併設されており、理科室やコンピューター室、会議室などが設置されている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校の理科教育はJICAの理科教育改善計画プロジェクトの研修に参加しており、実験や観察を通じて生徒が主体的に学ぶ探求型授業の手法を取り入れ始めている。また同プロジェクトで推進されている授業研究にも積極的に取り組んでおり、授業改善への意識も高まってきている。現在活動中のボランティアは同プロジェクトと連携し、授業で実験を実施する際のサポートや、指導案作成時の助言をおこなっている。今後は養成校の外にも活動の場を拡げ、学生の教育実習先や赴任先の小学校を巡回し、実際に小学校で探求型授業が取り入れられるよう学生や卒業生を支援して欲しいと、後任ボランティアの要請に至った。	
	2)期待される具体的業務内容 1. 小学校理科のカリキュラムの中で実施可能な実験・実習を同僚教官とともに計画し、実施する。 技術的な指導だけでなく、実験や実習を効果的に用いた授業作りを提案し、指導する。 2. 学生の教育実習先や赴任後の小学校を巡回し、実験・実習を取り入れた授業作りを指導する。小学校には実験器具がほとんどないため、身の回りのものを活用した実験・実習教材を紹介する事も求められる。 3. 他の理科教師隊員とともに理科や算数の研修会を企画し、実施する。 隊員が派遣されていない州の教員養成校教官や、付属小学校・近隣の小学校教諭に対する研修会の実施も期待される。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科室、各種薬品、光学顕微鏡10台、実体顕微鏡10台、試験管立て、ピーカー、丸底フラスコ、温度計、電流計、電気回路用コード、永久磁石、滑車、上皿天秤、バナばかりなど	
4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 理科担当: 女性2名 (50代、20代・現在は音楽を担当) 男性1名 (20代) 算数担当: 男性3名 (40代)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( ) ( )	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許(中・理 ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴 (大卒 ) (業務関連分野) 学歴理由: 教員養成校で指導するため ・経験 (実務経験 ) (5年以上 ) 経験理由: 教員養成校での勤務となるため 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯モンスーン ) 気温( 25~40℃位) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし	



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

要請番号( JL 021 - 11 - B - 04 )

調査者名: 小杉 尚子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
カンボジ ア	職種 理数科教師 (コード 6901 ) 指導科目	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	24 / 2
				3	24 / 3
				年 月 日	から

開発課題 教育分野への支援

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育青年スポーツ省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, Youth and Sport
	2)配属先名 (日本語) コンボンチャム州小学校教員養成校 (英語) Provincial Teachers Training Center, Kampong Cham
	3)任地 コンボンチャム 首都( ブンペン )から 北東 方向 124 Km 主要都市( ブンペン )までの交通手段及び所要時間( バス で約 2.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 高校卒業後に入学する2年制の小学校教員養成校。教職員数44名。学生は現在1年生160名(7クラス)、2年生208名(8クラス)で、クメール語、英語、算数、理科、社会、音楽、体育、コンピュータなどを学んでいる。敷地内には付属小学校が併設されている。JHP・学校をつくる会(日本のNGO)から校舎や鍵盤ハーモニカが寄贈されている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同校の理科教育はJICAの理科教育改善計画プロジェクトの研修に参加しており、実験や観察を通じて生徒が主体的に学ぶ探求型授業の手法を取り入れ始めている。また同プロジェクトで推進されている授業研究にも取り組んでおり、授業改善への意識も高まってきている。現在活動中のボランティアは同プロジェクトと連携し、教官が実験を実施する際のサポートや授業案作成時の助言を行っているが、教官自身が自ら考え、効果的な探求型授業を実施できるようにするために、さらに継続指導が必要であると後任ボランティアの要請に至った。今後は、算数の授業改善に取り組む事も期待される。	
	2)期待される具体的業務内容 1. 小学校理科のカリキュラムの中で実施可能な実験・実習を同僚教官とともに計画し、実施する。 技術的な指導だけでなく、実験や実習を効果的に用いた授業作りを提案し、指導する。 2. 学生が赴任する小学校には実験器具はほとんどないため、身の回りのものを活用した実験・実習教材を考案し、同僚教官や学生に紹介する。 3. 他の理科教師隊員とともに理科や算数の研修会を企画し、実施する。 隊員が派遣されていない州の教員養成校教官や、付属小学校・近隣の小学校教諭に対する研修会の実施も期待される。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 理科室(水道なし)、薬品(種類は少ない)、双眼実体顕微鏡4台、試験管、ビーカー、温度計、電流計、電圧計、永久磁石、パネばかり、アルコールランプ、地球儀、砂鉄、ガラス皿、コンロ、虫眼鏡など	
要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長: 女性 理科担当: 女性2名(50代・副校長兼務、40代) 算数担当: 男性3名(40代1名、30代2名) 女性1名(20代・専門に学んではいない)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) クメール語 ( ) ( )
	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル: )	

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許(中・理 ) ・性別( ) 性別理由: ・学歴(大卒 ) (業務関連分野) 学歴理由: 教員養成校で指導するため ・経験(実務経験 ) (5年以上) 経験理由: 教員養成校での勤務となるため 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無	○車輦 ○単車 ○自転車				×

概 地 況 域	* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)	
	* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)	
気候(熱帯モンスーン ) 気温( 25~40℃位) 電気( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )  
 短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 30 日

調査者名: 山根 幸子

要請番号( JL 024-11-B-10)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ラオス	職種 理数科教師 (コード 6901 )	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目			1	24 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2	24 / 2	
指導科目(英)	3	24 / 3				

開発課題 教育環境・アクセス改善、就学障害要因の軽減及び教育の質の向上

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2)配属先名 (日本語) バンケン教員養成短期大学中学校教員養成課程自然科学科 (英語) Ban Keun Teacher Training College (Natural Science Course)
	3)任地 ビエンチャン県トゥラコム郡バンケン 首都( ビエンチャン )から 北 方向 68 Km 主要都市( ビエンチャン )までの交通手段及び所要時間( 車 で約 1.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同校は幼稚園、小・中学校教員の養成校であり、後期中等教育(高校レベル)修了者を対象とした1~3年間のコースを実施している。中学校教員養成課程自然科学科(生物・化学・物理・数学)は3年間のコースのみがあり、約500名の学生が在籍している。同校は、過去にSIDA(スウェーデン)からの資金援助やオーストラリア人ボランティア、JICAによる技術プロジェクトの支援を受けたことがある。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2008年まで全国の教員養成校を対象に行われたJICA「理数科教員養成プロジェクト」により養成校教員の知識は向上した。他方、得た知識・技術の定着と、それらを教育現場において効果・効率的にいかすためには依然協力が必要である。また、ラオスにおける理数科教育の質の向上は急務であり、政府は教員教育・育成に係る2015年までの政策・戦略の焦点として、教員養成校の役割強化を挙げている。このような背景から、同コース教員の授業改善や学生の学力向上のため、引き続き隊員の派遣が求められている。前任者は物理を中心に、身近にある用具を用いて、実験や実験装置の紹介を教員、学生双方に行ってきた。
	2)期待される具体的業務内容 1 生物、化学、物理の分野において、実験装置や用具、機材が不足する中でも実践可能な中学生向けの実験授業を同僚教員に紹介し、それらを教員とともに学生に指導する。 2 同僚教員が行う授業の構成や板書計画等、指導法の改善に努める。 3 薬品や実験装置の保管等、実験室の環境整備に努め、その大切さを同僚教員や学生に伝える。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験管、ピーカー、磁石等簡単な実験器具、薬品、顕微鏡、オシロスコープ

4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル	5)業務使用言語(訓練言語は上段)	6)選考指定言語
	ラオス語 ( ) 英語 ( )	
自然科学科 教員数:13名(物理3名、化学1名、生物3名、数学6名) 兼任している教員もいる(女性8名) 教員年齢:20~50歳代(物理・生物教員は若い)		

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)		
	・教諭免許(中・理 )	・性別( )	性別理由:
	・学歴(大卒 )	( )	学歴理由: 大学での指導であるため
	・経験(実務経験 )	(5年以上 )	経験理由: 教員への助言・指導が求められているため
			理由:
			理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯モンスーン )	気温( 20-35℃位)	電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
	電話(☐インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)		水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)



事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 17 日

要請番号( JL 066 - 11 - B - 05 )

調査者名:小椋 知子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
スリラン カ	職種 理数科教師 (コード 6901 ) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Science & Mathematics Education 指導科目(英)			2	24 / 2
				3	24 / 3

開発課題 紛争影響地域住民生活・社会環境改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) 数学局 (英語) Mathematics Branch
	3) 任地 バッティッカロア県バッティッカロア 首都( スリジャワワルダナプラコッテ )から 東 方向 300 Km 主要都市( コロンボ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 7 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はスリランカの公的教育を監督する教育省内の一部局。中学・高校数学について、教育事務所の指導主事や学校の教師への研修、学生対象の補習、数学ラボの設置などを行っている。JICAでは2003年から3年間小中理数科マスタープラン作成を支援、2005年より3年間学校教育改善プロジェクトを実施し、100マス計算、研究授業などの普及にあたった。現在も数学レベル向上のために協力隊員4名が活動している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2009年に30年近く続いたスリランカの内戦が終結した。長年の紛争で荒廃した東部地域は、2004年の津波被害の影響もあり、他の地域に比べ経済・社会開発が遅れている。根深い民族問題もあり、民族間の和解を念頭においた復興支援が求められている。スリランカでは中学・高校の卒業レベルにあたる共通テストの合格率が50%以下という結果が長年続いており、数学教育の向上が課題となっている。東部州政府でも紛争中から数学教育の質的向上に取り組みしており、教師研修や補講を行い昨年は合格率59%と成果をあげた。復興支援の一環としてその取り組みに協力するため、ボランティアの要請が上げられた。
	2) 期待される具体的業務内容 任国の教育事情、教育システム、過去に実施されたJICAプロジェクト等を理解しながら以下の活動を行う。 1. 英語で数学を教えている中高8校を巡回し、数学教育の現状と問題点を調査する。 2. 教育事務所職員、巡回校教員と協議し、数学教育向上のための計画を立案し実施する。 3. 教育事務所職員、巡回校教員とともに、数学教師を対象としたワークショップやセミナーを実施する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各学校の教室、黒板、机、いす

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 州教育省関係者(男性1名、数学補佐官、30代) 教育事務所職員(男性4名、数学補佐官・バイリンガル補佐官、数学指導主事、30-50代) 各学校の教職員(男女、20-50代)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 (タミル語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: A) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	--	--	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・教諭免許(中・数 ) ・性別(女性) 性別理由: 現場教師からの希望
・学歴(大卒 ) ( ) 学歴理由: 教員への指導も行うため
・経験(実務経験 ) (5年以上) 経験理由: 応用的指導が求められるため
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
 \* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯 ) 気温( 23~34℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV )

短期(○JV\_A ○JV\_B ○SV\_A ○SV\_B )

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 17 日

調査者名:小椋 知子

要請番号( JL 066 - 11- B - 06 )

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
スリ ラ ン カ	職種 理数科教師 (コード 6901 )	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目			1 24 / 1	年 月 から
	職種(英) Science & Mathematics Education			2 24 / 2	
指導科目(英)	3 24 / 3				

開発課題 紛争影響地域住民生活・社会環境改善

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) 数学局 (英語) Mathematics Branch
	3) 任地 アンパーラ県アッカラパットゥ 首都( スリジャワワルダナプラコッテ )から 東 方向 370 Km 主要都市( コロンボ )までの交通手段及び所要時間( バス で約 9 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はスリランカの公的教育を監督する教育省内の一部局。中学・高校数学について、教育事務所の指導主事や学校の教師への研修、学生対象の補習、数学ラボの設置などを行っている。JICAでは2003年から3年間小中理数科マスタープラン作成を支援、2005年より3年間学校教育改善プロジェクトを実施し、100マス計算、研究授業などの普及にあたった。現在も数学レベル向上のために協力隊員4名が活動している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2009年に30年近く続いたスリランカの内戦が終結した。長年の紛争で荒廃した東部地域は、2004年の津波被害の影響もあり、他の地域に比べ経済・社会開発が遅れている。根深い民族問題もあり、民族間の和解を念頭にいた復興支援が求められている。スリランカでは中学・高校の卒業レベルにあたる共通テストの合格率が50%以下という結果が長年続いており、数学教育の向上が課題となっている。東部州政府でも紛争中から数学教育の質的向上に取り組んでおり、教師研修や補講を行い昨年は合格率59%と成果をあげた。復興支援の一環としてその取り組みに協力するため、ボランティアの要請が上げられた。
	2) 期待される具体的業務内容 任国の教育事情、教育システム、過去に実施されたJICAプロジェクト等を理解しながら以下の活動を行う。 1. 英語で数学を教えている中高4校を巡回し、数学教育の現状と問題点を調査する。 2. 教育事務所職員、巡回校教員と協議し、数学教育向上のための計画を立案し実施する。 3. 教育事務所職員、巡回校教員とともに、数学教師を対象としたワークショップやセミナーを実施する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 各学校の教室、黒板、机、いす

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 州教育省関係者(男性1名、数学補佐官、30代) 教育事務所職員(男性3名、数学補佐官・バイリンガル補佐官、数学指導主事、30-50代) 各学校の教職員(男女、20-50代)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 ( ) その他 (タミル語 )	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: A) <input type="checkbox"/> (レベル: )
------------------	--	---	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・教諭免許(中・数 ) ・性別(女性) 性別理由: 現場教師からの希望
・学歴(大卒 ) ( ) 学歴理由: 教員への指導も行うため
・経歴(実務経歴 ) (5年以上) 経歴理由: 応用的指導が求められるため
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

\* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) \* 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)  
\* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯 ) 気温( 23~34℃位) 電気( <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話( <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道( <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---